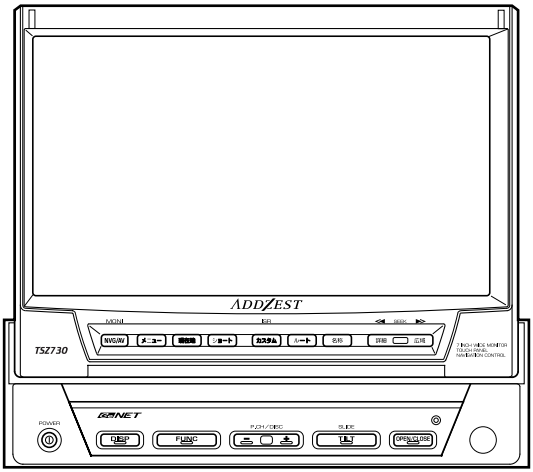
ADDZEST

ワイド7インチ・インダッシュTV

TSZ730

取扱説明書

CeNET



このたびは、アゼスト商品をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございました。

- 安全に正しくご利用いただくため、ご使用前にこの「**取扱説明書**」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- 保証書(別添)はお買い求めの販売店で記入いたしますので、内容をよくご確認のうえ、この取扱説明書とともに大切に保管してください。
- お読みになったあとは、いつでも見られる場所(グローブボックスなど)に必ず保管して下さい。
- この取扱説明書には、CeNETで結線されるCD/MDチェンジャーの操作説明も含まれています。(CD/MDチェンジャーの製品をお求めの場合、これらの製品の取扱説明書には操作説明は記載しておりません)

正しい取付
正しい操作で
安全運転

目次

はじめに

主な特長 **4**
ご使用の前に **5**
安全に正しくお使いいただくために 5
安全上のご注意 5
取扱上のご注意 8
液晶パネル部について 8
液晶画面について 9
お手入れについて 9
安全運転への配慮 10
受信について 10
ワイド画面について 10
システムチェックについて 11

本機の操作

■各部の名称とはたらき(マスターモード)

本体各部の名称とはたらき 12
マスターモードとは 12
TVモード時のメイン/メニュー画面 14
TVモード時の表示概要 15

■各部の名称とはたらき(スレーブモード)

本体各部の名称とはたらき 16
TVモード時のメイン/メニュー画面 18
TVモード時の表示概要 19

■基本の操作 20

液晶パネルを立ち上げる 20
液晶パネルを収納する 20
液晶パネルの角度等を調整する 21
液晶パネルを水平状態にする(エアコン操作モード) 21
電源をON/OFFする 21
モードを選ぶ(スレーブモード時) 22
ナビゲーション画面に切り換える 22
FMトランスミッターの周波数を変更する
(マスターモード時) 23
背景画面の設定を変更する 24

■テレビを見る 26

TVモードを選ぶ(スレーブモード時) 26
受信バンドを選ぶ 26
マニュアル選局する 26
自動選局する(シーク選局) 27
プリセット選局する 27
プリセットチャンネルリストを表示する 27
自動メモリーする(オートストア機能) 28

プリセットメモリーする 29
プリセットチャンネルを確かめる(プリセットスキャン) 29
2カ国語放送を切り換える 29
ステレオ放送をモノラルにする 30
音声だけを楽しむ(モニターOFF) 30
画面サイズを切り換える 31

■ビデオを見るには 32

ビデオとのつなぎかた 32
ビデオを見る 32
TVモードに戻すには 32

■タイトルをつける 33

タイトルを入力する 33
タイトルを削除する 34
タイトルをイージーインプットする 34

■設定を変更する(アジャストモード) 35

設定項目を選ぶ 35
TVダイバーシティーを設定する(TV DIVER) 36
TVエリアを設定する(TV AREA) 36
画質を調整する(MONI ADJ) 37
コントラストを調整する(DIMMER LV) 38
外部機器を設定する(CONNECT) 38
ボタン操作時のビープ音を設定する(BEEP) 38

外部機器の操作(スレーブモード)

外部機器の操作について(スレーブモード) 39
ラジオを聴く 40
テープを聴く 42
CD/MP3/WMA/MDを聴く 44
CD/MDチェンジャーを操作する 48
CDまたはMDのタイトルを見る 50
DVDビデオを見る 51
携帯電話機を操作する 52
携帯用オーディオを聴く 53

その他

システムアップについて 54
ナビゲーション接続時のご注意 56
故障かな?と思われる前に 57
エラー表示について 58
仕 様 59
アフターサービスについて 60

主な特長

■ 7型ワイドカラー液晶パネル
7型TFTアクティブマトリックス駆動方式カラー液晶パネルの採用で、迫力ある映像が楽しめます。

■ フルローディングメカニズム
液晶パネル部をコンパクトに収納し、快適な操作性のフルローディングメカニズムを採用、車内のスペースをムダにしません。

■ お好きな放送局にすばやく対応
プリセット選局(VHF/UHF、合計12局)、マニュアル選局、自動選局で、お出かけ先のお好きな放送局を簡単に選局できます。

■ 音声多重回路内蔵
映画の2カ国語放送やステレオ放送の音楽番組、野球中継などの第2音声と、楽しい使い方ができます。

■ 快適な操作性
ボタンひとつで液晶パネル部を自動で引き出したり、収納できます。
液晶パネル部の角度は、見る人の位置に合わせて調整できます。

■ 4系統ダイバーシティ内蔵
同梱のアンテナを接続すれば、4系統のダイバーシティ受信が可能になります。

■ ディスプレイ
- ディスプレイに触れるだけで各種機能のコントロールができるタッチキーパネル方式です。
- 走行中の画面表示あるいはスレーブモード時の外部機器操作画面における背景画面を、お好みの動画や色を組み合わせることによって多彩なディスプレイ効果を得ることができます。

■ CeNET (Clarion Entertainment Network:シーイーネット)結線対応
- 外部機器との結線にCeNET方式を採用。これにより、複数の外部機器接続時の中継BOXが不要となりました。
- CeNET結線対応の別販CDチェンジャーやMDチェンジャーあるいはDVDチェンジャーを合計2台まで接続して操作できるチェンジャーコントロール機能。

■ タイトル入力/表示機能
- ラジオやTVの放送局やCDにタイトルをつけ、受信時やCD演奏時に表示させるタイトル入力機能
- CDテキストあるいはMDのディスク名または曲名を表示させるタイトル表示機能

■ FMトランスミッター内蔵
FMラジオ付純正オーディオ等でもTV音声が楽しめるFMトランスミッター内蔵

■ エアコン操作モード内蔵
エアコン操作時等液晶パネルを水平状態にできる(約10秒間)エアコン操作モード内蔵

ご使用の前に

安全に正しくお使いいただくために

絵表示について
この「取扱説明書」への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警 告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注 意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

⚠記号は警告・注意を促す内容があることを告げるものです。
図の中には具体的な注意内容（左図の場合は指はさまれ注意）が描かれています。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中には具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

❗記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

安全上のご注意

- 安全のため、ご使用の前にこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- お読みになったあとは、いつでも見られる所（グローブボックスなど）に必ず保管してください。

安全上のご注意

■使用上のご注意

⚠ 警 告

●走行中は運転者による操作をしない…

運転者が操作する場合は、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。ナビゲーション機器は、安全のため、パーキングブレーキを操作して停車させないと、一部の操作ができないようになっています。

●走行中はピラーアンテナやルーフアンテナの引き伸ばし操作をしない…

運転操作に支障をきたし、事故の原因となります。

●運転者がテレビやビデオを見るときは、必ず安全な場所に車を停車させる…

本機は、安全のため、パーキングブレーキを操作して停車しないと、映像を見ることができないようになっています。

●本機を分解したり、改造しない…

事故や火災、感電の原因となります。

●画面が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しない…

事故や火災、感電の原因となります。そのような場合は、必ずお買い求めの販売店また最寄りの弊社修理相談窓口に相談してください。

●万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変なにおいがするなど異常が起こりましたら、直ちに使用を中止し、必ずお買い求めの販売店または弊社修理相談窓口に相談する…

そのまま使用すると事故や火災、感電の原因となります。

●ヒューズを交換するときは、必ず規定容量のヒューズを使用する…

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。

●本機の取り付けおよび取り付けの変更は、安全のため、必ずお買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口に依頼する…

専門技術と経験が必要です。

⚠注 意

●ナビゲーションによる経路誘導・音声案内時は、実際の交通規則にしたがって走行する…

●運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用する…
車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。

●オペレーションパネル開閉時または角度を切り換えるときは、機構部に手や指を近づけない…
挟まれて、ケガの原因となることがあります。

●ディスク挿入口に手や指を入れない…
ケガの原因となることがあります。

●ディスク挿入口に異物を入れない…
火災や感電の原因となることがあります。

●本機を車載用以外には使用しない…
感電やケガの原因となることがあります。

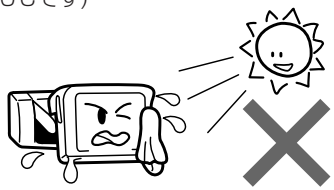
●アンテナの折れ曲がった状態で使用しない…
歩行者などに接触して、ケガの原因となることがあります。

●樹脂加工部に対してベンジンやシンナーなどの溶剤を使用して清掃しない…
部品変形により故障して、火災などの原因となることがあります。

液晶パネル部について

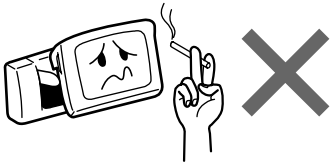
本機は、画面に触れるだけでダイレクトに操作できる、タッチキー方式のディスプレイを採用しています。

- 夏期は車内の温度が高くなることがありますので車内の温度を下げてからお使いください。(ディスプレイが正常に動作する温度は0℃～60℃です)



- 液晶パネル部を持ってディスプレイの角度を調整しないでください。(角度調整ボタンを使用してください。)

- ディスプレイに衝撃を加えたりすると、破損や変形など、故障の原因となります。
- ディスプレイ本体に、タバコの火がふれないようにしてください。キャビネットが変色したり、変形したりすることがあります。



- ディスプレイの表面は傷つきやすいので、ボールペンや爪の先など硬いものでこすったり、たたいたりしないでください。

- ディスプレイを傾けたとき、本体との間にできるすき間に、ものを入れたり、つついたりしないでください。
- ディスプレイのタッチキーは、軽く触れると動作します。強い力でタッチキー画面を押さないでください。

- タッチキーパネルの周囲のケースを強く押さないでください。タッチキーの誤動作を起こす恐れがあります。

ご注意

- バッテリー交換などで本機への電源供給が止まると、メモリー内容が消えて初期設定の状態になります。
- 液晶パネル部の引き出し/収納は、エンジン停止時や寒いときなどに止まることがありますが、故障ではありません。何度か、液晶パネル開閉ボタンを押してください。

液晶画面について

- 液晶パネル部の表面は傷つきやすいので、硬いものでこすったり、たたいたりしないでください。
- 液晶パネル部に水滴などをつけた状態で放置しないでください。変色、シミの原因となります。また、水分が内部に侵入すると故障の原因となります。水滴などがついてしまった場合は、すぐ脱脂綿や柔らかい布などでふき取ってください。
- 非常に寒いとき、画面の動きが遅くなったり画面が暗くなったりすることがありますが、故障ではありません。常温に戻れば回復します。
- 液晶パネルの中には、小さな黒点や輝点が出ることがありますが、液晶特有の現象で、故障ではありません。

お手入れについて

● キャビネットのお手入れ

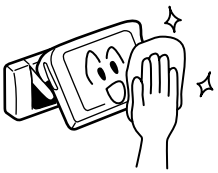
やわらかい乾いた布で軽くふいてください。汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤をやわらかい布につけて軽くふきとり、乾いた布で仕上げてください。

ご注意

- 自動車用クリーナーなどは、変質したり、塗料がはげる原因となりますので使わないでください。また、ゴムやビニール製品を長時間接触させておくと、シミのつくことがあります。

● 液晶表示部のお手入れ

ホコリがつきやすいので、ときどき、やわらかい布でふいてください。



⚠注 意

- ベンジンやシンナーなどの溶剤で液晶パネル部を清掃しないでください。

ご使用の前に

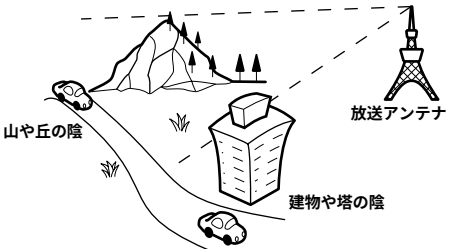
安全運転への配慮

安全運転への配慮から、テレビの映像が表示されるのは、停車中(パーキングブレーキを引いているとき)だけです。テレビをご覧になるときには、必ず、車を停車させてお楽しみください。(走行中は図のような画面が表示され、音声のみを聴くことができます)

(走行中の画面)

受信について

- テレビ放送を受信する場合、家庭用のテレビアンテナは最適な向きに固定できますが、車は移動するため、建物や山などの障害物に影響されて、電波の強さが変わり、受信状態が悪くなることがあります。
- 電車の架線や高圧線、信号機などの外部要因により、画像が乱れたり雑音が入る場合があります。
- 放送エリアから離れると、電波が弱くなり、受信状態が悪くなります。また、UHF局や地方局は放送電波の出力が小さいため、数kmの移動で受信状態が悪くなる場合があります。



ワイド画面について

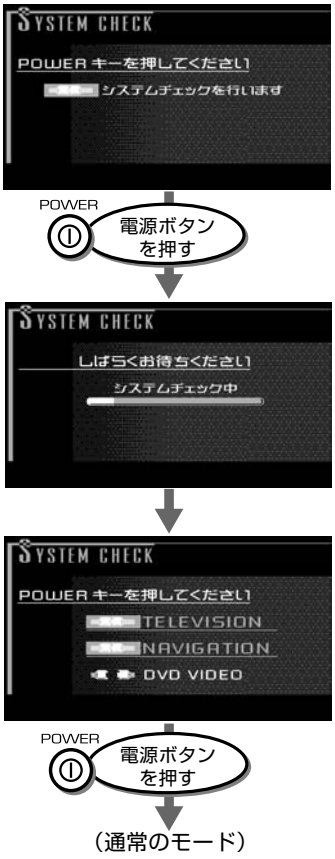
ワイドテレビは、各種の画面モード切り換え機能を備えています。テレビ番組等ソフトの映像比率と異なるモードを選択されますと、オリジナルの映像とは見え方に差が出ます。この点にご留意の上、画面モードをお選びください。

システムチェックについて

本機に採用されているCeNET方式はシステムチェック機能を採用しています。
本機マスターモード時のシステムチェック表示は次のようなときに表示されますので、電源ボタンを2回押して通常モードに戻してください。

- 本機の取り付け直後に電源を入れたとき
- 外部機器を接続または取り外したとき
- バッテリー交換等で電源が切れたとき
- リセットボタンを押したとき

●マスターモード時



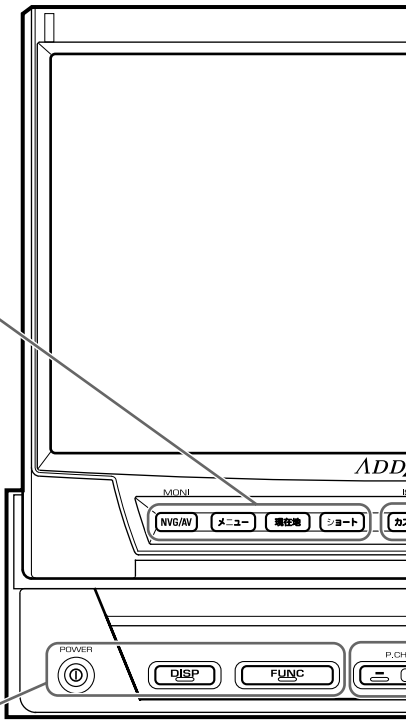
●スレーブモード時

センターユニット側でチェックを行います。
詳しくは接続するセンターユニットの取扱説明書をご覧ください。

各部の名称とはたらき(マスターモード)

本体各部の名称とはたらき

(液晶パネル部引き出し状態)



NVG/AV ナビゲーション/オーディオ・ビジュアルボタン
- ナビゲーションモードとAVモードを切り換えます。ナビゲーションが接続されていないときには、黒画面になります。
- 押し続ける(約1秒間)と、モニター画面が消えます。(オープンボタン以外のボタンを押すか、またはモニター画面に触れると、モニター画面を表示します。

メニュー *メニューボタン(※)*
- ナビゲーションモード時は、メインメニューを表示します。

現在地 *現在地ボタン(※)*
- ナビゲーションモード時は、メニュー画面表示中に押すと地図画面を表示します。また、スクロール中の地図画面で押すと、地図上の現在地を表示します。

ショート *ショートカットボタン(※)*
- 目的地の設定や解除など、状況に応じたメニューを開けます。

※印のボタンはCeNET結線対応のナビゲーションシステム接続時に使用します。

POWER ⏻ 電源ボタン
- 電源をON/OFFします。

DISP ディスプレイボタン
- 背景画面設定へ切り換えます。
- TV/VTR/DVDビデオモード時にパーキングブレーキを引いているときに押すと、画面サイズを切り換えます。

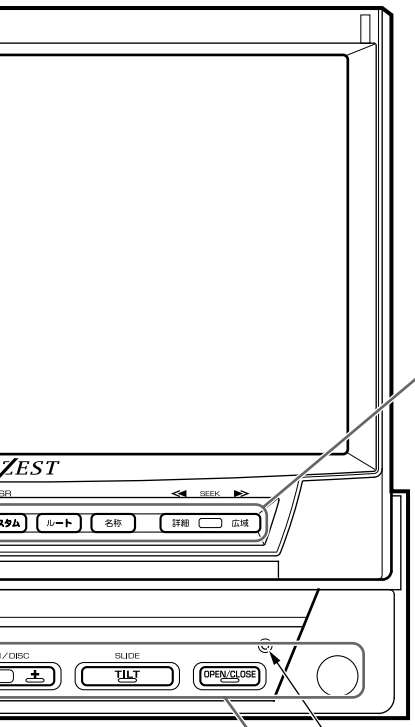
FUNC ファンクションボタン
- 受信バンドを切り換えます。

商品イラストについて

本書における商品イラストは、簡素化を図るため、操作説明に直接関係のない表示文字を省略しています。

マスターモードとは…

本機のオーディオ信号をFMトランスミッターを経由して、カーラジオ等でお聴きになる場合に使用します。
この場合、カーラジオ等のFM受信周波数を本機のFMトランスミッター周波数に合わせてください。
※本機のマスター/スレーブ切換スイッチは工場出荷時(マスターに設定)のままご使用ください。
※スレーブモードからマスターモードに切り換えたときは、必ずリセットスイッチを押してください。
※マスター/スレーブ切換スイッチについては取付説明書をご覧ください。



リセットスイッチ

カスタム *カスタムボタン(※)*
- ナビゲーションモード時は「VICS情報呼び出し」など、よく使う機能のうちの1つを、このボタンで呼び出すことができます。

ルート *ルートボタン(※)*
- ナビゲーションモード時は、ルート誘導中、渋滞でコースを迂回したときや、中継点設定していない場所に寄り道したときに、ルートを再計算できます。また、複数のルートからお好みのルートを選べます。

名称 *名称ボタン(※)*
- ナビゲーションモード時は、ランドマーク、道路など名称を切り換えます。

◀◀ SEEK ▶▶
詳細 広域

選局ボタン
- TVの受信チャンネルをアップ/ダウンします。

詳細/広域ボタン(※)
- ナビゲーションモード時は、地図画面を拡大/縮小します。

P.CH/DISC
アップ/ダウンボタン
- TVモード時にプリセット選局します。

SLIDE TILT
角度調整ボタン
- 液晶パネル部が出ているときに押すと、パネル角度を5段階に調整します。約2秒間押し続けるたびに、液晶パネル部を前後に3段階移動します。

OPEN/CLOSE 液晶パネル開閉ボタン
- 液晶パネルが収納されている時に押すと出てきます。液晶パネル部が出ているときに押すと収納されます。
- 液晶パネルが出ているときに約2秒間押し続けると、液晶パネル部が水平状態になります。もう一度押すと元の位置に戻ります。ボタンを押さない場合は約10秒後に元の位置に戻ります。

リモコン信号受光部
- CeNET結線対応ナビゲーション接続時、ナビリモコン信号を受信します。（オーディオ操作時には対応していません。）

各部の名称とはたらき(マスターモード)

TVモード時のメイン/メニュー画面

（メイン画面）

モード表示

タイトル表示

時計表示
CeNETナビゲーション接続時に表示します。

SUB ：副音声表示
二カ国語放送の副音声再生時に表示します。

MANU：手動選局表示
「**MANU**」が表示されているときは手動選局モード、表示されていないときは自動選局モードです。

ST ：ステレオ放送表示
ステレオ放送受信時に表示します。

受信バンド/チャンネル表示

■ TVメイン画面について

パーキングブレーキを引いて停車中のTVメイン画面は、約7秒間で消えます。もう一度表示させたいときは、画面に触れてください。

BAND ：バンドキー
受信バンドを切り換えます。
押し続ける(約1秒間)と手動選局/自動選局を切り換えます。

F.WIDE：画面モード表示
初期設定はフルワイド(F.WIDE)です。**F.WIDE→WIDE→CINEMA→NORMAL**と切り換わります。

メニュー画面切替タッチキー部
(走行中は背景画面を表示します。詳しくは24ページをご覧ください。)

1 ～ 6
：ダイレクトキー
キーに触れて選局します。
触れ続ける(約2秒間)と受信中の局をプリセットメモリーします。

（メニュー画面）

P.CH ：プリセットチャンネルキー
プリセットチャンネル画面を表示します。

SUB ：サブキー
選局・受信モード等の選局等サブ画面を表示します。

ADJ ：アジャストキー
初期設定を変更ためのアジャスト画面を表示します。

NAME：ネームキー
タイトル入力に切り換えます。（「**TVエリアを設定する**」(36ページ)でユーザータイトルを選択してください。

■ メニュー画面について

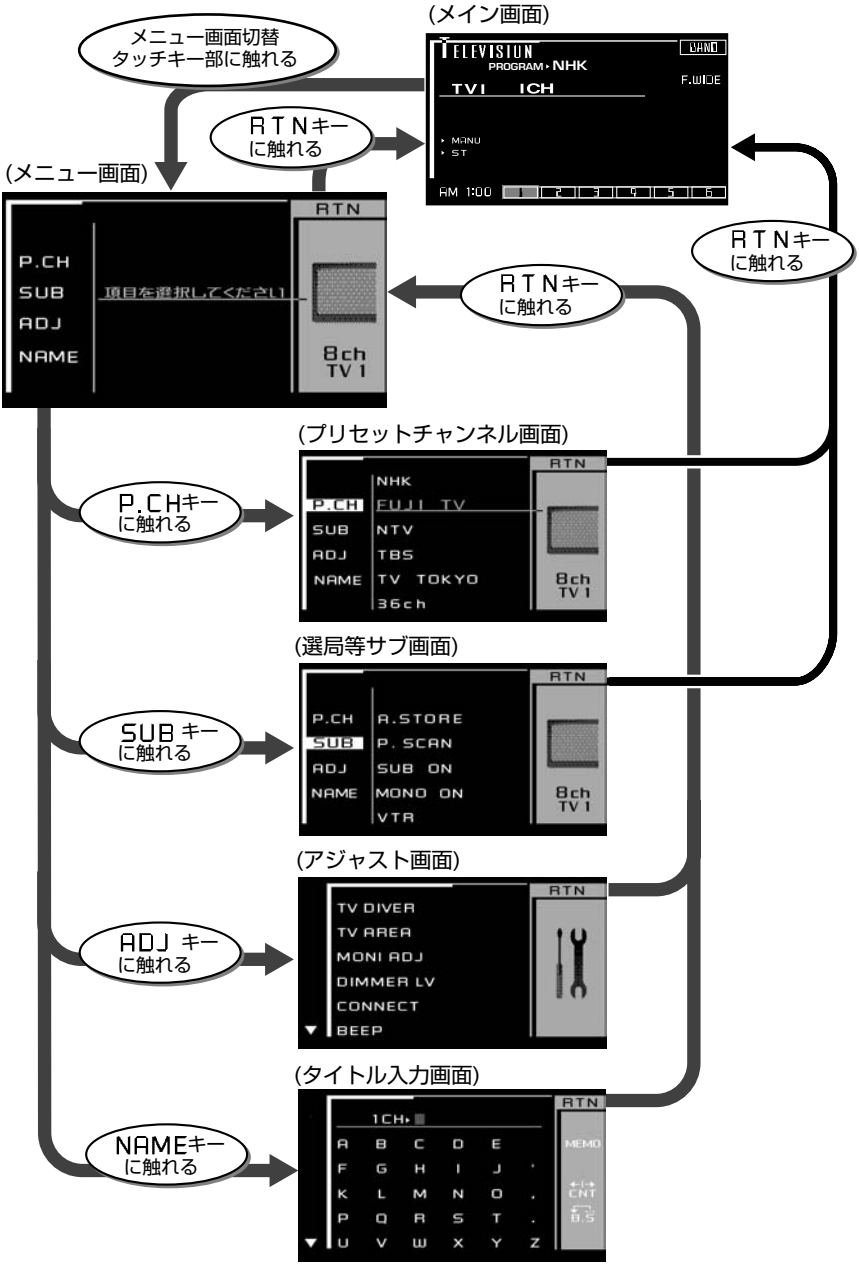
メニュー画面は、TVメイン画面表示中に、メニュー画面切替タッチキー部(走行中のメイン画面のときは背景画面表示部)に触れると表示します。

元の画面に戻るときは画面右上のリターンキー(RTN)に触れてください。

RTN：リターンキー
メイン画面に戻ります。

受信バンド/チャンネル表示

TVモード時の表示概要



各部の名称とはたらき(スレーブモード)

本体各部の名称とはたらき

NVG/AV ナビゲーション/
オーディオ・ビジュアルボタン
- ナビゲーションモードとAVモードを切り換えます。ナビゲーションが接続されていないときは、黒画面になります。
- 押し続ける(約1秒間)と、モニター画面が消えます。(オープンボタン以外のボタンを押すか、またはモニター画面に触れると、モニター画面を表示します。

メニュー *メニューボタン(※)*

現在地 *現在地ボタン(※)*

ショート *ショートカットボタン(※)*

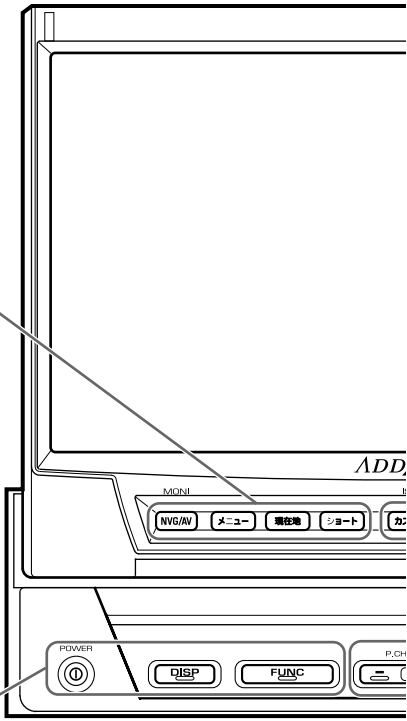
※印のボタンはCeNET結線対応のナビゲーションシステム接続時に使用します。その働きについては、「本体各部の名称とはたらき(マスターモード)」(12ページ)をご覧ください。

POWER 電源ボタン
- 電源をON/OFFします。

DISP ディスプレイボタン
- 背景画面設定へ切り換えます。
- TV/VTR/DVDビデオ/DVDチェンジャーモード時に、パーキングブレーキを引いているときに押すと、画面サイズを切り換えます。
- テキスト機能対応のCDモード/CDチェンジャーモードで押し続ける(約1秒間)と、ユーザータイトルとCDテキストの表示が切り換わります。

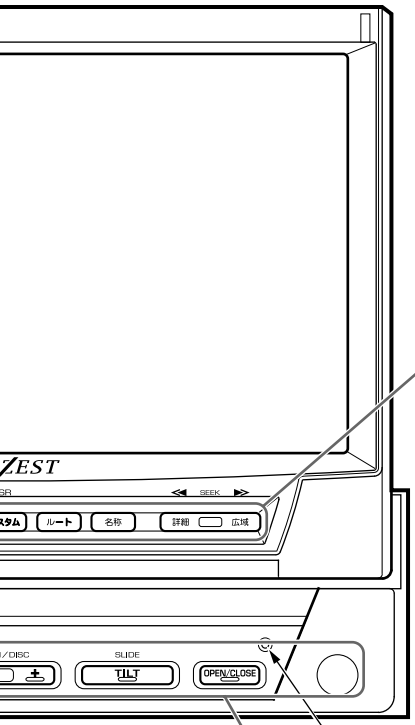
FUNC ファンクションボタン
- テレビ/ラジオモード等を切り換えます。(センターユニットの機能や接続されている機器により異なります。)

(液晶パネル部引き出し状態)



スレーブモードとは…

本機のオーディオ信号をオーディオセンターユニットを経由して再生する場合に使用します。
このモードのときには、本機のマスター/スレーブ切換スイッチをスレーブ側に切り換えてご使用ください。切り換えたときは、必ずリセットスイッチを押してください。
※この場合、ファンクションボタンの機能及びメニュー画面の一部がマスターモードと異なります。
※マスター/スレーブ切換スイッチについては取付説明書をご覧ください。



ISR

カスタム

ISRボタン

- 現在のモードにかかわらず、よくお聴きになるラジオ局をすぐに呼び出します。(ISR機能)また、ラジオモード時に押し続ける(約2秒間)とISRの書き込みができます。

カスタムボタン(※)

ルート *ルートボタン(※)*

名称 *名称ボタン(※)*

◀◀ SEEK ▶▶

詳細 広域

選局/選曲ボタン

- TV/ラジオモード時に受信チャンネル/周波数をアップ/ダウンします。
- CD/MDモードやCD/MD/DVDチェンジャーモード時に選曲や早送り/早戻しをします。

詳細/広域ボタン(※)

OPEN/CLOSE **液晶パネル開閉ボタン**

- 液晶パネルが収納されている時に押すと出てきます。液晶パネル部が出ているときに押すと収納されます。
- 液晶パネルが出ているときに約2秒間押し続けると、液晶パネル部が水平状態になります。もう一度押すと元の位置に戻ります。ボタンを押さない場合は約10秒後に元の位置に戻ります。

リモコン信号受光部

- スレーブモード時は機能しません。

リモコン信号はセンターユニット側の受光部で受信します。

P.CH/DISC

アップ/ダウンボタン

- TV/ラジオモード時にプリセット選局します。
- CD/MD/DVDチェンジャーモード時にディスクを切り換えます。
- MDモードグループ機能ONのとき、グループを切り換えます。
- MP3/WMAモードのとき、フォルダーを切り換えます。

SLIDE

TILT **角度調整ボタン**

- 液晶パネル部が出ているときに押すと、パネル角度を5段階に調整します。約2秒間押し続けるたびに、液晶パネル部を前後に3段階移動します。

■各部の名称とはたらき(スレーブモード)

TVモード時のメイン/メニュー画面

※ 説明を省略している項目については、マスターモードにおける「TVモード時のメイン/メニュー画面」(14ページ)をご覧ください。

(メイン画面)

タイトル表示

時計表示
CeNETナビゲーションまたはセンターユニット接続時に表示します。

SUB：副音声表示
MANU：手動選局表示
ST　：ステレオ放送表示

受信バンド/チャンネル表示

■TVメイン画面について

パーキングブレーキを引いて停車中のTVメイン画面は、約7秒間で消えます。再度表示させたいときは、画面に触れてください。

BAND：バンドキー

F.WIDE：画面モード表示

メニュー画面切替タッチキー部
(走行中は背景画面を表示します。詳しくは24ページをご覧ください。)

1～6
：ダイレクトキー

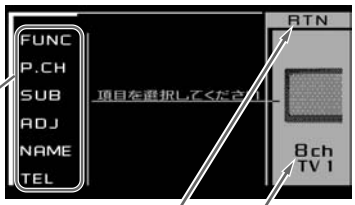
モード表示

- TUNER　：ラジオモード
- CD PLAYER　：CD/MP3モード
- MD PLAYER　：MDモード
- CD CHANGER　：CDチェンジャー
- MD CHANGER　：MDチェンジャーモード
- TELEVISION　：テレビモード
- CASSETTE　：テープモード
- ISR　：ISRモード
- DVD VIDEO　：DVDチェンジャーモード

■メニュー画面について

メニュー画面は、TVメイン画面表示中に、メニュー画面切替タッチキー部(走行中のときは背景画面表示部)に触れると表示します。元の画面に戻るときは画面右上のリターンキー(RTN)に触れてください。

(メニュー画面)



FUNC：ファンクションキー
TV等のモードを切り換えます。

P.CH：プリセットチャンネルキー
プリセットチャンネル画面を表示します。

SUB：サブキー
選局・受信モード等の選局等サブ画面を表示します。

ADJ：アジャストキー
初期設定を変更ためのアジャスト画面を表示します。

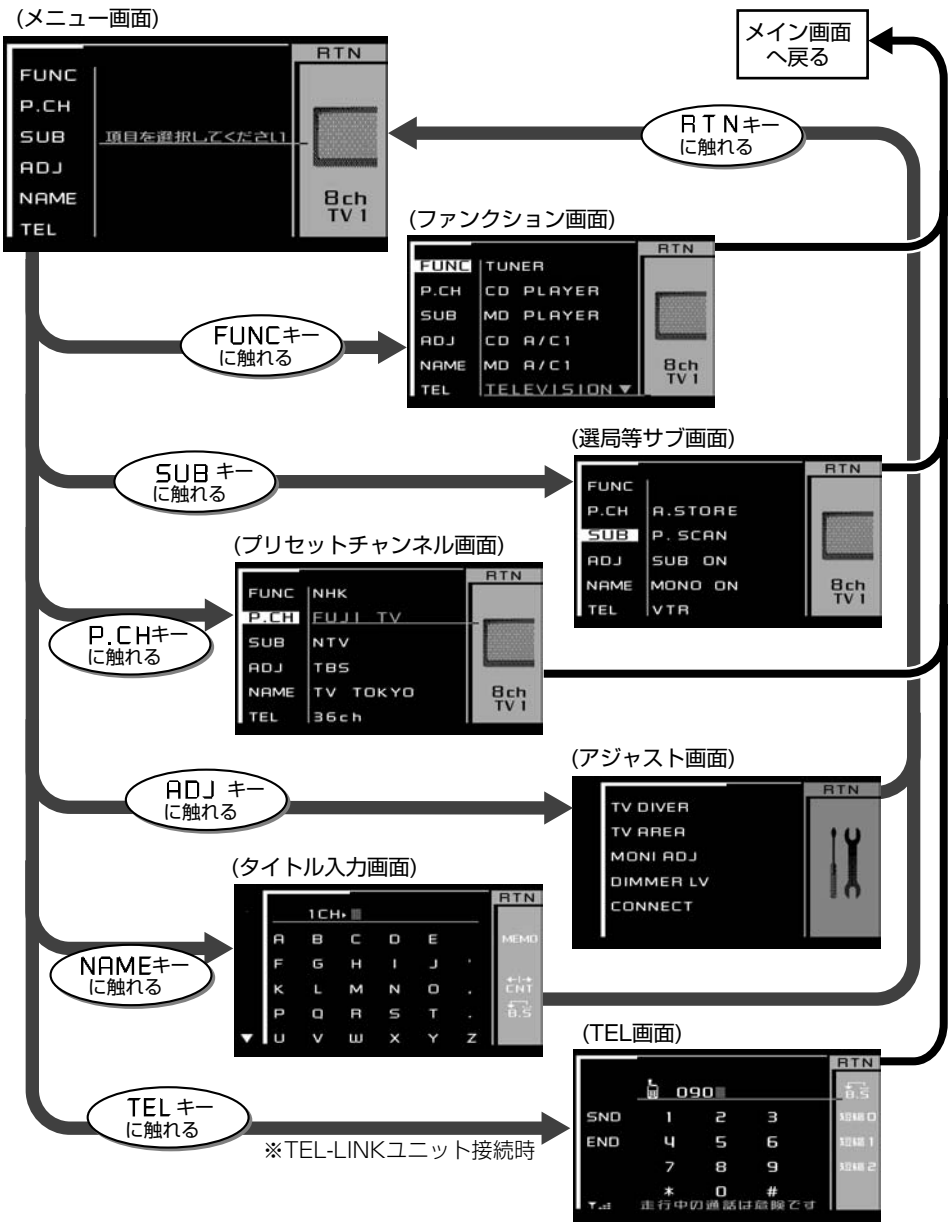
NAME：ネームキー
タイトル入力に切り換えます。「TVエリアを設定する」でユーザータイトルを選択してください。

TEL：TELキー
電話モードに切り換えます。(TEL-LINKユニット接続時)

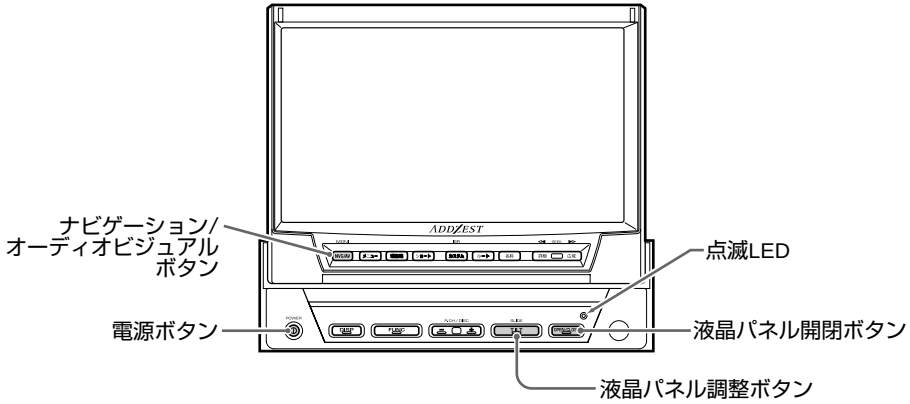
受信バンド/チャンネル表示

RTN
：リターンキー
メイン画面に戻ります。

TVモード時の表示概要



基本の操作



⚠警 告

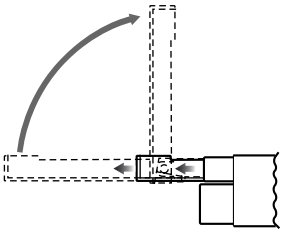
- バッテリーあがり防止のため、本機の操作は、なるべくエンジンをかけた状態で行ってください。
- 液晶パネル作動時は、液晶パネルと、本体や車側インパネに手や指をはさまないようにご注意ください。

液晶パネルを立ち上げる

1 液晶パネル開閉ボタンを押す

OPEN/CLOSE

→液晶パネルが自動的に出て立ち上がり、前回OFFしたモードを表示します。



- 液晶パネルの開閉動作中はLEDが点滅します。

ご注意

- 途中で止まったときには、いったん液晶パネル開閉ボタンを押して収納し、もう1度ボタンを押して立ち上げてください。

液晶パネルを収納する

1 液晶パネル開閉ボタンを押す

OPEN/CLOSE

→液晶パネルが自動的に収納されます。

ご注意

- 長時間使用しないときや車から離れるときは、必ず液晶パネルを本体に収納してください。

液晶パネルの角度等を調整する

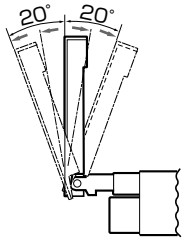
本機の取付角度または車内に差し込む光線に合わせて、液晶パネル面の角度あるいは取付面からの液晶パネルの突き出し量を調整できます。

■角度を調整するには

1 液晶パネル調整ボタンを押す

SLIDE
TILT

→ボタンを押すたびに、液晶パネルが前方または後方に最大約20°傾きます。調整した角度はメモリーされます。



ご注意

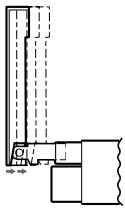
- 液晶パネルを手で持って可動させないでください。

■スライド位置を調整するには

1 液晶パネル調整ボタンを押し続け、ピッとなったら指を離す

SLIDE
TILT

→液晶パネルが前方または後方にスライドします。調整したスライド位置はメモリーされます。



液晶パネルを水平状態にする(エアコン操作モード)

液晶パネルがエアコン操作の障害となる取付のときに、一時的に液晶パネルを水平状態にしてエアコン操作をすることができます。

1 液晶パネルの立ち上げ状態のときに、液晶パネル開閉ボタンを押し続け、ピッとなったら指を離す

OPEN/CLOSE

→液晶パネルが水平状態になります。

- 水平状態のときに、もう一度液晶パネル開閉ボタンを押すと元の位置に戻ります。
- 水平状態で約10秒間ボタン操作がない場合、警告音が鳴り元の位置に戻ります。

電源をON/OFFする

1 電源ボタンを押す

POWER
⏻

→電源がONまたはOFFします。

ご注意

- 電源をOFFしても、液晶パネル部は収納されません。長時間使用しないときは、液晶パネル開閉ボタンを押して、液晶パネル部を収納してください。

基本の操作

モードを選ぶ(スレーブモード時)

1 ファンクションボタンを押す

FUNC

→押すたびに、つぎのように切り換わります。(接続されていない機器は表示されません。)

ラジオ → CD → MD → テープ
↑ ↓
TV CDチェンジャー
↑ ↓
DVDチェンジャー ← MDチェンジャー

■メニュー画面からモードを選ぶには…

1 画面に触れてメイン画面を表示する

2 メニュー画面切替タッチキー部に触れて、メニュー画面を表示する

3 メニュー画面の「**FUNC**」キーに触れてファンクション画面を表示させ、モードキーに触れる

ナビゲーション画面に切り換える

1 ナビゲーション/オーディオ・ビジュアルボタンを押す

MONI
NVG/AV

→ナビゲーション画面に切り換わり、TV等の音声を聴くことができます。

- ボタンを押し続けたときは、画面表示を消してTV等の音声を聴くことができます。
- ナビゲーションの映像が入力されていないときは黒画面表示になります。

FMトランスミッターの周波数を変更する(マスターモード時)

FMトランスミッターについて…
FMトランスミッターは、本機の音声信号を一旦FMに変換して、ラジオ付カーオーディオで再生する方式です。
※初期設定は「**76.8MHz**」です。

ご注意

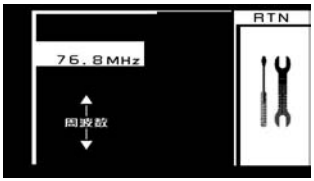
- 設定したFMトランスミッター周波数によっては、TV画面・音声妨害を受けることがあります。そのときは、FMトランスミッター周波数を変更してください。

1 メイン画面表示中に、メニュー画面切替タッチキー部に触れて、メニュー画面を表示する

2 メニュー画面のアジャストキー(**ADJ**)に触れて、アジャスト画面を表示する

3 画面左下のスクロールキー(▼)に触れて、画面を切り換える

4 周波数設定キー(**TRANS FREQ**)に触れて周波数設定画面を表示する



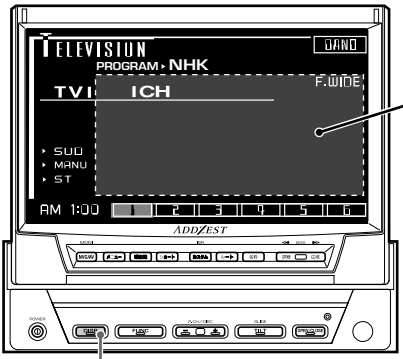
5 周波数アップ/ダウンキー(▲ ▼)に触れてFMトランスミッター周波数を調整する

6 リターンキー(**RTN**)に3回触れて、メイン画面に戻る

- FMトランスミッターの周波数調整範囲は、76.1～78.0MHzです。それ以外の周波数は設定できません。

■周波数設定をOFFする場合には…
周波数の設定を上記周波数調整範囲外にしてください。
→□(表示なし)となります。

基本の操作



メニュー画面切替タッチキー部
(走行中は背景画面を表示します。)

ディスプレイボタン

停車時のTVメイン画面は約7秒間で消えます。メイン画面を表示させるには、画面に触れてください。

背景画面の設定を変更する

本機は、走行中の画面表示あるいはスレーブモード時の外部機器操作画面における背景画面を、お好みの動画や色を組み合わせることによって多彩なディスプレイ効果を得ることができます。

⚠警告

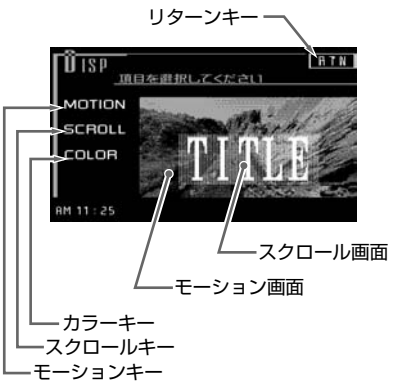
- この機能の設定はパーキングプレーキを引いて停車中に行ってください。

1 メイン画面表示中に、メニュー画面切替タッチキー部に触れて、メニュー画面にする

(マスターモード時の表示)

2 ディスプレイボタンを押して、背景設定メニューを表示する

DISP

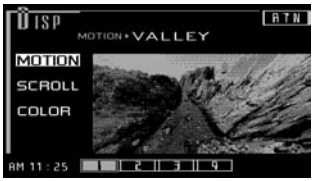


3 設定キーに触れて、設定画面を表示させる

■モーション(MOTION)画面を設定するには…

※初期値は「**1.VALLEY**」です。

3-1 モーションキーに触れる



次ページに続く

3-2 設定番号キーに触れる

1：VALLEY(バレー)

2：DANCE(ダンス)

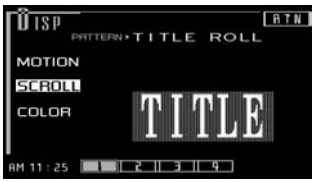
3：NUMERIC(ヌメリック)

4：OFF(表示なし)

■スクロール(SCROLL)画面を設定するには…

※初期設定は「**1.TITLE ROLL**」です。

3-1 スクロールキーに触れる



3-2 設定番号キーに触れる

1：TITLE ROLL(タイトルロール)

2：ATOMIC(アトミック)

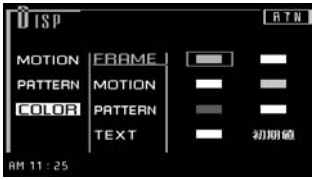
3：DOLPHIN(ドルフィン)

4：OFF(表示なし)

■背景画面の色(COLOR)を設定するには…

※初期設定は「**FRAME**」です。色の初期設定は「FRAME、MOTION、SCROLLは赤、TEXTは白」です。

3-1 カラーキーに触れる



3-2 設定項目キーに触れる

- **FRAME :**
  背景画面の外枠の色を設定します。
- **MOTION :**
  モーション画面の色を設定します。
- **SCROLL:**
  スクロール画面の色を設定します。
- **TEXT :**
  表示文字の色を設定します。

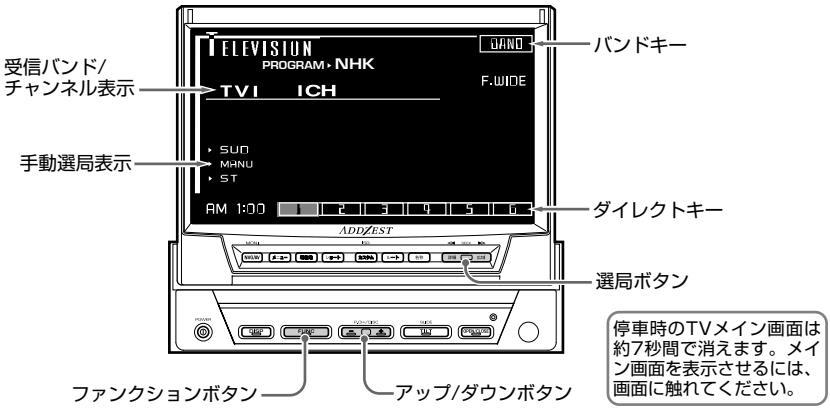
3-3 カラー表示キーに触れて、設定する色を選ぶ

→選択されたカラー表示キーが拡大表示されます。

- 設定できる色は、赤、緑、青、黄、シアン、マゼンタ、白の7色です。
- 初期値を選ぶと、出荷時の設定に戻ります。

4 リターンキー(**RTN**)に2回触れて、メイン画面に戻る

テレビを見る



⚠警 告

- テレビやビデオを見るときは、必ず安全な場所に車を停車させてください。

放送局名表示について…

放送局名を表示させる場合は、「**TVエリアを設定する**」(36ページ)でテレビを受信する地域を設定してください。
また、オリジナルの放送局名を表示させたい場合には、「**タイトルをつける**」(33ページ)をご覧ください。

TVモードを選ぶ(スレーブモード時)

1 ファンクションボタンを押す

FUNC

- メニュー画面のファンクションキー(**FUNC**)に触れてファンクション画面を表示させ、モードキー(**TUNER**等)に触れてもモードを切り換えることができます。

受信バンドを選ぶ

1 バンドキー(BAND)に触れる

→触れるたびに、受信バンドが切り換わります。

TV1 → TV2

- マスターモードのときは、ファンクションボタンを押しても切り換えることができます。

マニュアル選局する

1 メイン画面に「**MANU**」が表示されていないときは、バンドキー(BAND)に触れ続けて(約1秒間)、「**MANU**」を表示する。

2 選局ボタンの◀◀または▶▶を押す

◀◀ SEEK ▶▶
詳細 広域

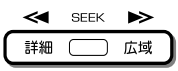
→画面に受信バンド/チャンネル番号が表示されます。

- 選局(◀◀, ▶▶)ボタンは、1回押すごとにチャンネル数が1つずつ増減します。

自動選局する(シーク選局)

1 メイン画面に「**MANU**」が表示されているときは、バンドキー(BAND)に触れ続けて(約1秒間)、「**MANU**」表示を消す

2 選局ボタンの⏪または⏩を押す



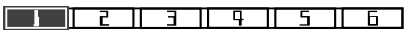
→選局(⏪, ⏩)ボタンを押すと自動選局になり、放送を受信したチャンネルで自動的に止まります。

- 放送チャンネルの前後で自動選局が停止した場合は、もう1回選局(⏪, ⏩)ボタンを押してください。

プリセット選局する

受信チャンネルについて…
受信チャンネルはVHF(1～12チャンネル)、UHF(13～62チャンネル)です。プリセットチャンネルメモリー数はTV1(6局)、TV2(6局)の計12局で、自由にメモリーすることができます。

1 メイン画面のダイレクトキーに触れて、見たい放送を選ぶ



- あらかじめメモリーしたプリセットチャンネルを選局します。
- アップダウンボタン(**+**、**−**)を押して、プリセットチャンネルをアップ/ダウン選局することも可能です。

プリセットチャンネルリストを表示する

プリセットチャンネルリストについて…
既にメモリーしてあるプリセットチャンネル内容を表示して確認することができます。

1 メイン画面表示中に、メニュー画面切替タッチキー部に触れて、メニュー画面を表示する

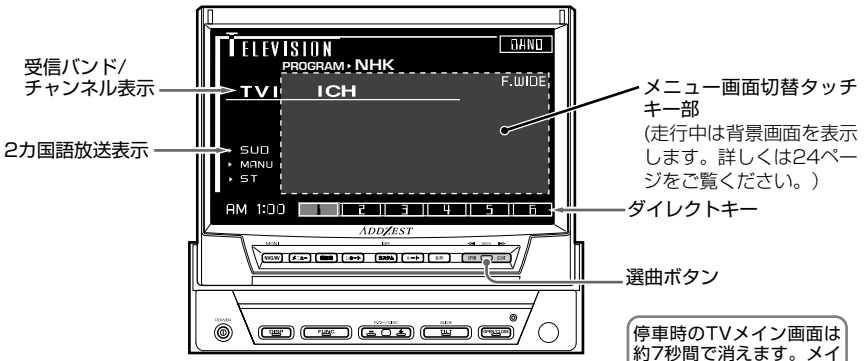
- 本項の説明におけるメイン画面はマスターモード時の表示です。スレーブモードのときは、ファンクションキー、TELキー表示が追加されます。

2 プリセットチャンネルキー(**P.CH**)に触れて、プリセットチャンネル画面を表示する

- タイトル表示に触れると、メモリーされているチャンネルを受信します。

3 リターンキー(**RTN**)に触れて、メイン画面に戻る

テレビを見る



自動メモリーする(オートストア機能)

オートストア機能について…

自動受信したチャンネルを、自動的にプリセットチャンネルにメモリーします。プリセットチャンネルの設定のしかたは、TV-1、TV-2ともに同じです。

1 メイン画面表示中に、メニュー画面切替タッチキー部に触れて、メニュー画面を表示する

2 サブキー(**SUB**)に触れて、選局等サブ画面を表示する

3 オートストアキー(**A.STORE**)に触れる(約2秒間)

→受信中の次の放送局から、自動的に放送局をメモリーしていきます。

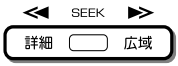
- バッテリー交換などで電源供給が止まると、メモリー内容は初期設定になります。
- 電波の状態により、空きチャンネルをメモリーする場合があります。
- 電波の弱いところでは、メモリーされないときがあります。
- メモリーできなかったときや空きチャンネルをメモリーしたときには、「**プリセットメモリーする**」を参照して書き換えてください。

■ オートストア機能を途中で中止するには…

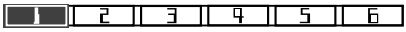
もう一度オートストア(**A.STORE**)キーに触れてください。

プリセットメモリーする

1 選局ボタンでプリセットしたいチャンネルを選ぶ



2 メモリーさせたいダイレクトキーに触れ続ける(約2秒間)



→現在受信している新しいチャンネルがメモリーされます。

- プリセットチャンネルリスト画面のタイトルリストキーでの操作も可能です。
- バッテリー交換などで電源供給が止まると、メモリー内容は初期設定になります。

プリセットチャンネルを確かめる(プリセットスキャン)

1 「自動メモリーする(オートストア機能)」の手順1～2と同じ操作を行い、選局等サブ画面を表示する

2 プリセットスキャンキー(**P.SCAN**)に触れる

→プリセットチャンネルの放送を順に7秒間ずつ受信します。(有局の場合)

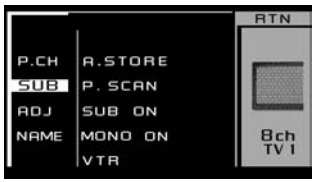
■プリセットスキャンを途中で中止するには…

もう1度プリセットスキャンキー(**P.SCAN**)に触れてください。

2カ国語放送を切り換える

1 メイン画面表示中に、メニュー画面切替タッチキー部に触れて、メニュー画面を表示する

2 サブキー(**SUB**)に触れて、選局等サブ画面を表示する

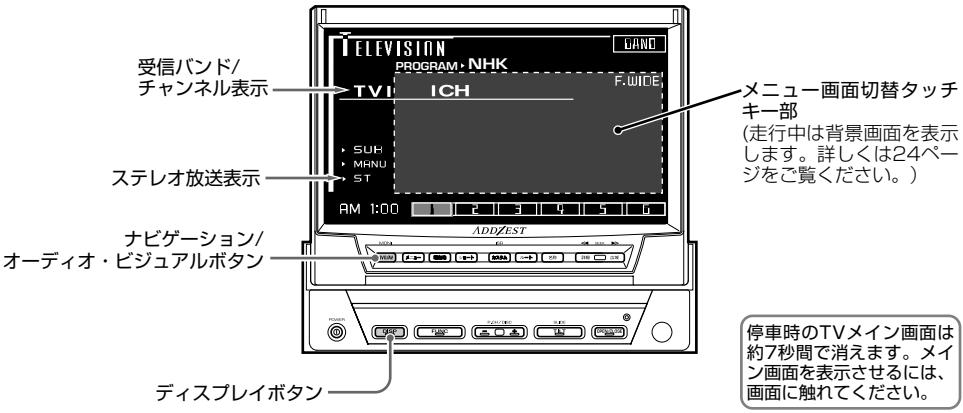


3 サブオンキー(**SUB ON**)に触れる

→キーに触れるたびに、「**SUB OFF**」と「**SUB ON**」が切り換わります。

- **SUB OFF**：
  主音声(MAIN)を再生します。
- **SUB ON**：
  副音声(SUB)を再生し、2カ国語放送表示が「**SUB**」表示になります。
- 「ステレオ放送をモノラルにする」でMONO ON状態になっていると主音声(MAIN)に固定されます。

テレビを見る



停車時のTVメイン画面は約7秒間で消えます。メイン画面を表示させるには、画面に触れてください。

ステレオ放送をモノラルにする

1 2カ国語放送を切り換えるの手順1～2と同じ操作を行い、選局等サブ画面を表示する

2 モノラルオンキー(**MONO ON**)に触れる

→キーに触れるたびに、「**MONO OFF**」と「**MONO ON**」が切り換わります。

- **MONO OFF**：
  ステレオ放送の場合にはステレオで再生します。
- **MONO ON**：
  ステレオ放送の場合でもモノラルで再生します。

音声だけを楽しむ(モニターOFF)

1 ナビゲーション/オーディオ・ビジュアルボタンを押し続ける(約1秒間)

MONI
NVG/AV

→画面の映像が消え音声だけを楽しむことができます。

再度ボタンを押すか画面に触れると映像がでます。

- ナビゲーション接続時にこのボタンを押すと、ナビゲーション画面に切り換えます。

画面サイズを切り換える

画面表示モードについて…

画面サイズは次の四種類です。再生する映像に合わせて設定してください。

- ノーマルモード(通常の4：3の映像を表示)
- ワイドモード(4：3の映像を水平方向に引き延ばし率を変化させて表示)
- フルワイドモード(4：3の映像を水平方向に均等に引き延ばして表示)
- シネマモード(16：9の映像を画面いっぱいに拡大して表示)

※初期設定は「**F.WIDE**」(フルワイド)です。

1 ディスプレイボタンを押す

DISP

→ボタンを押すたびに、画面表示モードは右図のように切り換わります。

- メニュー画面表示中にディスプレイボタンを押したときは、画面サイズの表示のみが切り換わり、メニュー表示が消えた後に画面サイズが切り換わります。
- メニュー画面表示が消えているときにディスプレイボタンを押すと、画面サイズが切り換わります。その際画面サイズの表示は行いません。
- ワイド映像でない通常の4：3の映像をワイドモードあるいはフルワイドモードを利用して、ワイドテレビの画面いっぱいに表示してご覧になると、周辺画像が一部見えなくなったり変形して見えます。製作者の意図を尊重したオリジナルな映像は、ノーマルモードでご覧になれます。

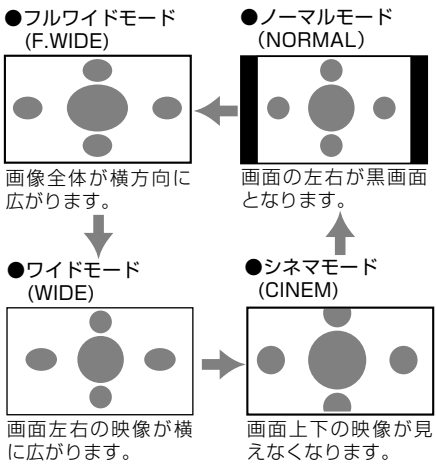
ご注意

画面上に操作キーが表示されている間は、画面表示モードはフルワイドモードとなります。

画面サイズの切り換えは画面右側の画面表示モードで確認してください。

- メニュー表示中にディスプレイボタンを押したときは、画面サイズの表示のみが変わり、メニュー表示が消えた後に画面サイズが切り換わります。

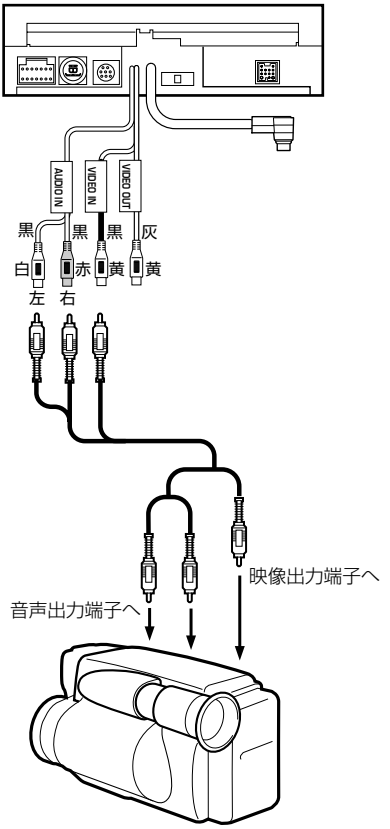
■通常の4 ：3 映像の場合は、設定モードにより以下のように変形して見えます。



ビデオを見るには

ビデオとのつなぎかた

※ ビデオ等の映像・音声を出力する場合にVTRモードを使用してください。



ビデオ（ビデオカメラ）など

ご注意

- 接続するときには、本機とビデオ(ビデオカメラ)などの電源は、必ずOFFにしてください。
- 接続する前には、接続する機器の取扱説明書もご参照ください。
- テレビ映像同様、ＶＴＲ接続時も走行中は映像を表示しないで音声のみを聴くことができる安全設計になっています。パーキングブレーキを引いて車が停止しているときのみＶＴＲ映像を見ることができます。

ビデオを見る

1 メニュー画面のサブキー(**SUB**)に触れて、選局等サブ画面を表示する

2 **VTR**キーに触れる

→ビデオ画面になります。

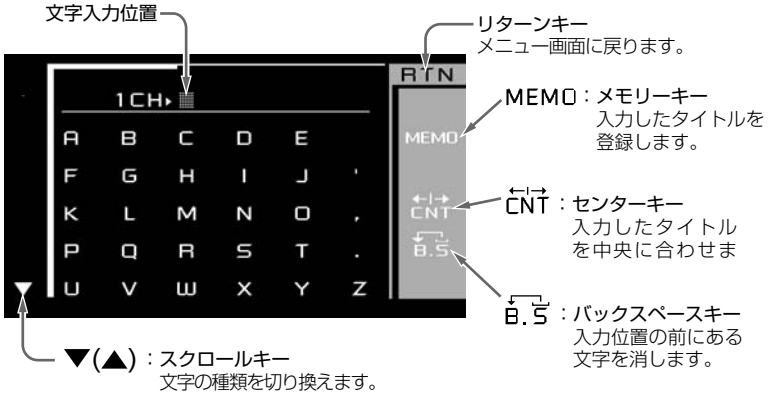
- ビデオ機器の操作方法については、接続する機器の取扱説明書をご参照ください。

TVモードに戻すには

1 画面に触れてVTRメニュー画面を表示し、サブキー(**SUB**)に触れてサブメニュー画面を表示する

2 テレビジョンキー(**TELEVISION**)に触れて、TVモードに戻る

タイトルをつける



タイトルを入力する

タイトル入力について…

●マスターモード時

テレビの放送局にタイトルを付け、受信時に表示させることができます。
入力できるタイトル数は、15タイトルです。

●スレーブモード時

ラジオの放送曲やテレビの放送局及びCD(チェンジャー時)にタイトルを付け、受信時やCDチェンジャー演奏時に表示させることができます。(ラジオ、テレビ、CD、CDチェンジャーモード時)
入力できるタイトル数は、次の通りです。

- ラジオモード　：30タイトル
- TVモード　：15タイトル
- CDチェンジャーモード時のディスクタイトル
  6枚チェンジャー　：60または100タイトル
  12枚チェンジャー：50タイトル

1 タイトルをつけたいラジオ局(スレーブモード時)、テレビ局を受信する
またはCD(スレーブモード時)を演奏する

ご注意

- ラジオ(スレーブモード時)、テレビでタイトルが入力できるのは、エリアセレクトでユーザータイトルを選択している時だけです。
- テレビエリアの切り換えかたは、「TVエリアを設定する」(36ページ)をご覧ください。

2 メニュー画面のネームキー(**NAME**)キーに触れる

→タイトル入力画面になります。

3 画面に表示されている文字、記号等に触れて入力する

- 入力できる文字数は、10文字です。
- 文字種類の切替は画面左下のスクロールキー(▼)に触れてください。
- 入力できる記号等は、次ページをご覧ください。

4 タイトルを入力したらメモリーキー(**MEMO**)に触れ続ける(約2秒間)

→タイトルがメモリーされ、元のモードの画面に戻ります。

次ページに続く

タイトルをつける

ご注意

- ノイズなどの原因によって、本機のマイコンが誤動作したときなどに、リセットボタンを押すと、本機にメモリーされていたタイトルなどのユーザーメモリーはすべて消去されますのでご注意ください。

■入力文字の種類

- アルファベット大文字
  A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z
- アルファベット小文字
  a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z
- 数字/記号
  0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 . , ' : ; ! ? α * # $ % & ¥ + − × / =( )<>" → ← ↑ ↓ ↔ ↕ ♂ ♀ ★ ♥ ◆ # ♭ ♪ ♪ ♫ ♬
- カタカナ
  ア イ ウ エ オ カ キ ク ケ コ サ シ ス セ ソ タ チ ツ テ ト ナ ニ ヌ ネ ノ ハ ヒ フ ヘ ホ マ ミ ム メ モ ヤ ユ ヨ ラ リ ル レ ロ ワ ヲ ン ァ ィ ゥ ェ ォ ッ ャ ュ ョ 。 ゜ ー「 」

タイトルを削除する

1 スレーブモード時は、削除したいタイトルのモード(ラジオ、テレビまたはCD/CDチェンジャー)をファンクションボタンを押して選ぶ
または、メニュー画面のファンクションキー(**FUNC**)に触れる

2 削除したいタイトルのラジオ局(スレーブモード時)、またはテレビ局を受信する
またはCDを演奏する

3 画面に触れてメニュー画面を表示する

4 ネームキー(**NAME**)に触れる
→タイトル入力画面が表示されます。

5 バックスペースキー(8.5)に触れて、タイトルを1文字ずつ消す

6 メモリーキー(**MEMO**)に触れ続ける(約2秒間)

→メイン画面のタイトルが削除されます。

タイトルをイージーインプットする

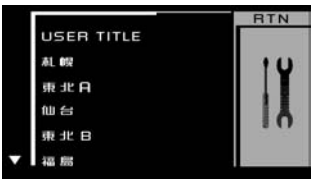
イージーインプットについて…
本機は、テレビエリアにメモリーされている周波数とタイトルのうちプリッセットチャンネルにメモリーされている分を「USER TITLE」にコピーすることができます。

1 テレビモードに切り換えた後、メニュー画面切替タッチキー部に触れてメニュー画面を表示する

2 アジャストキー(**ADJ**)に触れて、アジャスト画面を表示する

- 受信エリアについては、放送局の「TVエリアを設定する」(36ページ)をご覧ください。

3 TVエリアキー(**TV AREA**)に触れて、エリア設定画面を表示する



- リターンキー(**RTN**)に触れると、アジャスト画面に戻ります。

4 イージーインプットしたいエリア表示キー(仙台等)に触れる

→エリア表示キーの右側にメモリーキー(**MEMO**)を表示します。

5 メモリーキー(**MEMO**)に触れ続ける(約2秒間)
→選択したエリアのタイトルが「**USER TITLE**」に登録されます。

6 リターンキー(**RTN**)に3回触れて、メイン画面に戻る

設定を変更する(アジャストモード)

設定項目を選ぶ

（TVモード時のメイン画面）

※TV等の映像が表示されているときは、画面に触れてメイン画面を表示します。

メニュー画面切替タッチキー部
(走行中は背景画面を表示します。詳しくは24ページをご覧ください。)

タッチキー部に触れる

「RTN」キーに触れる

（マスターモード時のメニュー画面）

※スレーブモードのときは、「**FUNC**」「**TEL**」が追加表示されます。

「ADJ」キーに触れる

「RTN」キーに触れる

（マスターモード時のアジャスト画面）

「TV DIVER」キーに触れる

▲または▼キーに触れる

※スレーブモードのときは、「**BEEP**」、「**TRANS FREQ**」は表示しません。

設定を変更する(アジャストモード)

TVダイバーシティーを設定する (TV DIVER)

TVダイバーシティーについて…

TV放送受信時に、受信状態の良いアンテナに自動的に切り換えます。
※初期設定は「**ON**」です。
- 本機は、4系統ダイバーシティを内蔵しています。

1 設定項目を選ぶの操作手順で、アジャスト画面を表示する

2 TVダイバーキー(**TV DIVER**)に触れる

3 「**ON**」または「**OFF**」キーに触れて設定を切り換える

4 リターンキー(**RTN**)に触れて、メニュー画面に戻る

TVエリアを設定する (TV AREA)

テレビエリアについて…

テレビエリア(テレビを受信する地域)を選択すると、選局したチャンネルに対する放送局名を自動的に表示することができます。
※初期設定は、「**関東**」です。

1 設定項目を選ぶの操作手順で、アジャスト画面を表示する

2 TVエリアキー(**TV AREA**)に触れる

3 地域名表示(仙台等)に触れて、地域を選択する

- スクロールキー(▲▼)に触れると、右上に示す地域表示がスクロールします。
- 地域名については次ページをご覧ください。

4 リターンキー(**RTN**)に2回触れて、メニュー画面に戻る

■イージーインプット機能について…

テレビエリアを選択してから、メモリーキー(**MEMO**)に触れ続ける(約2秒間)と、選択したテレビエリアの放送局名と一致するチャンネルがプリセットメモリーされている場合、ユーザーメモリーに登録されます。
- オリジナルの放送局名を表示する場合は、「**USER TITLE**」にしてください。また、オリジナルの放送局名をつけるときは、「タイトルをつける」(33ページ)をご覧ください。

■表示名一覧

USER TITLE		
札幌	東北A(＊)	仙台
東北B(＊)	福島	信越
関東	静岡	東海・中部
北陸	近畿	山陰
岡山	山陽	四国A(＊)
四国B(＊)	九州A(＊)	九州B(＊)
九州C(＊)	鹿児島	沖縄

＊A,BまたはA,B,Cと区分けしているエリア表示については、以下の放送局名を参考に設定してください。

• 東北A

1ch(青森放送)	3ch(NHK)
4ch(NHK)	5ch(NHK教育)
6ch(IBC岩手)	8ch(NHK教育)
33ch(めんこいテレビ)	34ch(青森朝日)
35ch(テレビ岩手)	38ch(青森テレビ)

• 東北B

2ch(NHK教育)	4ch(NHK教育)
8ch(NHK)	9ch(NHK)
10ch(山形放送)	11ch(秋田放送)
31ch(秋田朝日放送)	36ch(TVユー山形)
37ch(秋田テレビ)	38ch(山形テレビ)

• 四国A

1ch(四国放送)	3ch(NHK)
19ch(テレビ瀬戸内)	29ch(山陽放送)
31ch(岡山放送)	33ch(瀬戸内海放送)
37ch(NHK)	38ch(NHK教育)
39ch(NHK教育)	41ch(西日本放送)

• 四国B

2ch(NNH)	4ch(NHK)
6ch(NHH)	8ch(高知放送)
10ch(南海放送)	25ch(愛媛朝日放送)
29ch(アイテレビ)	37ch(愛媛テレビ)
38ch(テレビ高知)	

• 九州A

1ch(九州朝日)	3ch(NHK)
4ch(RKB毎日)	6ch(NHK教育)
9ch(テレビ西日本)	19ch(TXN九州)
36ch(佐賀テレビ)	37ch(福岡放送)
38ch(NHK)	40ch(NHK教育)

• 九州B

1ch(NHK教育)	2ch(NHK教育)
3ch(NHK)	5ch(長崎放送)
9ch(NHK)	11ch(熊本放送)
16ch(熊本朝日)	22ch(熊本県民)
25ch(長崎国際)	27ch(長崎文化)
34ch(テレビ熊本)	37ch(テレビ長崎)

• 九州C

3ch(NHK)	5ch(大分放送)
8ch(NHK)	10ch(宮崎放送)
12ch(NHK教育)	24ch(大分朝日)
35ch(テレビ宮崎)	36ch(テレビ大分)

画質を調整する(MONI ADJ)

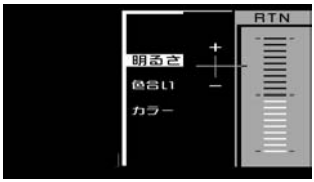
画質調整について…

画面の明るさ、色合い)、色の濃さを調整して、お好みの画質で映像をご覧ください。

• この調整はTV/VTR/DVDビデオモードで停車中のみ調整できます。(TV/VTR/DVDビデオ以外のモードまたはTV/VTR/DVDビデオモードで走行中のときには、画面の明るさのみ調整できます。)

1 設定項目を選ぶの操作手順で、アジャスト画面を表示する

2 モニターアジャストキー(**MONI ADJ**)に触れる



3 「**明るさ**」、「**色合い**」または「**カラー**」キーに触れて設定内容を選び、画面の「**＋**」または「**－**」キーで調整する

調整モード	(－)に触れる	(＋)に触れる
明るさ調整	暗くなる	明るくなる
色合い調整	赤が増加する	緑が増加する
カラー調整	薄くなる	濃くなる

4 リターンキー(**RTN**)に2回触れて、メニュー画面に戻す

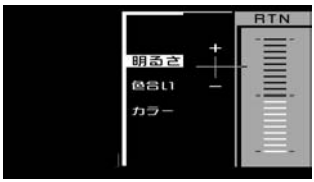
▌設定を変更する(アジャストモード)

コントラストを調整する (DIMMER LV)

ディマー機能について…
夜間などで車内が暗いときに、ディスプレイの眩しさを防ぐため、車のイルミネーション電源に連動してディスプレイ照明を減光することができます。
※初期設定は、
車のライト消灯時…一番明るい設定
車のライト点灯時…中間の明るさ

1 設定項目を選ぶの操作手順で、アジャスト画面を表示する

2 ディマーキー(**DIMMER LV**)に触れる



3 「**+**」、「**−**」キーで調整する

4 リターンキー(**RTN**)に2回触れて、メニュー画面に戻る

外部機器を設定する (CONNECT)

外部接続機器の設定について…
本機にCeNET結線対応以外のナビゲーションまたは他社製ナビゲーションを接続したときに設定します。

※初期設定は「**RGB**」です。
- CeNET結線対応のナビゲーション接続時は設定する必要はありません。

1 設定項目を選ぶの操作手順で、アジャスト画面を表示する

2 コネクトキー(**CONNECT**)に触れる

3 「**RGB**」または「**COMPO**」キーに触れて、接続方法を選ぶ

- **RGB :**
  CeNET結線対応以外のアゼストナビゲーションを接続したとき
- **COMPO :**
  他社製ナビゲーションを接続したとき

4 リターンキー(**RTN**)に触れて、メニュー画面に戻る

ボタン操作時のビープ音を設定する(BEEP)

ビープ音について…
操作時になる「ピッ」という音をビープ音といいます。本機は、マスターモード時にこの音が鳴らないように設定できます。
※初期設定は、「**BEEP ON**」です。
- スレーブモードのときは、センターユニット側で設定します。

1 設定項目を選ぶの操作手順で、アジャスト画面を表示する

2 ビープキー(**BEEP**)に触れる

3 「**ON**」または「**OFF**」キーに触れて、設定を切り換える

4 リターンキー(**RTN**)に触れて、メニュー画面に戻る

外部機器の操作について(スレーブモード)

本機は、接続したCeNET結線対応センターユニットの機能およびセンターユニットに接続した外部機器に対応したタッチキー画面を表示し、以下の操作を行うことができます。

- ***ラジオチューナーの操作(40ページ)***
  1DINセンターユニットを接続したとき
- ***カセットデッキの操作(42ページ)***
  カセットデッキ内蔵の1DINセンターユニットを接続したとき
- ***CDデッキの操作(44ページ)***
  CDデッキ内蔵の1DINセンターユニットを接続したとき
- ***MDデッキの操作(44ページ)***
  MDデッキ内蔵の1DINセンターユニットを接続したとき
- ***MP3/WMAの操作(44ページ)***
  MP3またはWMA対応の1DINセンターユニットを接続したとき
- ***CDチェンジャーの操作(48ページ)***
  1DINセンターユニットにCDチェンジャーを接続したとき
- ***MDチェンジャーの操作(48ページ)***
  1DINセンターユニットにMDチェンジャーを接続したとき
- ***DVDビデオを見る(51ページ)***
  ‥DVDビデオ対応ハイブリッドナビゲーションを接続したとき
  ‥DVDチェンジャーを接続したとき
  ※本機での操作は簡易的なものとなります。
- ***携帯電話機の操作(52ページ)***
  1DINセンターユニットにTEL-LINKユニットを接続したとき
- ***携帯用オーディオを聴く(53ページ)***
  AUX入力ユニットを接続したとき

※B/B DSPの操作を行うことはできません。
センターユニット側で行って下さい。

外部機器の操作においては、外部機器の操作手順のみを記載しています。操作手順以外の詳細については、接続機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

ラジオを聴く

MANU：手動選局表示
「**MANU**」が表示されているときは手動選局モード、表示されていないときは自動選局モードです。

ST　：ステレオ放送表示
ステレオ放送受信時に表示します。

受信バンド/周波数表示

放送局名表示

BAND：バンドキー
受信バンドを切り換えます。
押し続ける(約1秒間)と手動選局/自動選局を切り換えます。

(メイン画面)

背景画面表示部
「背景画面の設定を変更する」(24ページ)でお好みの動画や色を組み合わせることができます。

1～6
：ダイレクトキー
キーに触れて選局します。
触れ続ける(約2秒間)と受信中の局をプリセットメモリーします。

背景画面表示部に触れる

「RTN」キーに触れる

(メニュー画面)

タッチキー表示

FUNC：モードキーを表示します。

P.CH：プリセットチャンネルキーを表示します。

SUB：オートストア/プリセットスキャンキーを表示します。

SUB　A.STORE ←オートストアキー
　　P.SCAN ←プリセットスキャンキー

ADJ：アジャスト画面を表示します。

NAME：タイトル入力に切り換えます。

バンドを選ぶ

1 バンドキー(BAND)に触れる

→触れるたびに、FM1→FM2→AM1→AM2→FM1…と切り換わります。

マニュアル選局する

1 画面に「**MANU**」が表示されていないときは、バンドキー(BAND)に触れ続けて(約1秒間)、「**MANU**」を表示する。

2 選局ボタン(◀◀ SEEK ▶▶ 詳細 広域)の◀◀または▶▶を押す

自動選局する(シーク選局)

1 画面に「**MANU**」が表示されているときは、バンドキー(BAND)に触れ続けて(約1秒間)、「**MANU**」表示を消す

2 選局ボタン(◀◀ SEEK ▶▶ 詳細 広域)の◀◀または▶▶を押す

プリセット選局する

1 ダイレクトキー(1 ～ 6)に触れて、見たい放送を選ぶ

プリセットメモリーする

1 選局ボタン(◀◀ SEEK ▶▶ 詳細 広域)でプリセットしたい放送局を選ぶ

2 メモリーさせたいダイレクトキーに触れ続ける(約2秒間)

→現在受信している新しい放送局がメモリーされます。

自動メモリーする(オートストア機能)

1 背景画面表示部に触れてメニュー画面を表示する

2 メニュー画面のサブキー(**SUB**)に触れて、サブメニュー画面を表示する

3 オートストアキー(**A.STORE**)に触れ続ける(約2秒間)

プリセットチャンネルを確かめる(プリセットスキャン)

1 背景画面表示部に触れてメニュー画面を表示する

2 メニュー画面のサブキー(**SUB**)に触れて、サブメニュー画面を表示する

3 プリセットスキャンキー(**P.SCAN**)に触れる

■プリセットスキャンを解除するには…

もう1度、プリセットスキャンキー(**P.SCAN**)に触れてください。

テープを聴く

BLS：ブランクスキップ演奏時に表示
BNR：ドルビーB NR選択時に表示。
RPT
- **RPT**：リピート演奏時に表示
- **SCN**：スキャン演奏時に表示

演奏状態表示

（メイン画面）

PROG：プログラムキー
テープ演奏方向を切り換えます。

▶/II：プレイ/ポーズキー
一時停止します。

背景画面表示部

背景画面表示部に触れる

「RTN」キーに触れる

（メニュー画面）

タッチキー表示

FUNC：モードキーを表示します。

SUB：スキャン等の演奏キーを表示します。

SUB	SCAN	←スキャン演奏キー
	REPEAT	←リピート演奏キー
	BLANK SKIP	←ブランクスキップキー
	DOLBY B NR	←ドルビーB NR キー

ADJ：アジャスト画面を表示します。

早送り/巻戻しする

1 早送りのときは、選曲ボタン( )の▶▶を押す

巻戻しのときは、選曲ボタン( )の◀◀を押す

■早送り/巻戻しを解除するには…
プログラムキー(PROG)に触れてください。

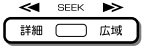
演奏を止める

1 プレイ/ポーズキー(▶/II)に触れる

■演奏を再開させるには…
もう1度、プレイ/ポーズキー(▶/II)に触れてください。

曲の頭出しをする(APC機能)

1 次の曲を聴くときは、選曲ボタン( )の▶▶を2回押す

演奏中の曲を始めから聴くときは、選曲ボタン()の◀◀を2回押す

聴きたい曲を探す(スキャン演奏)

1 メニュー画面のサブキー(**SUB**)に触れて、サブメニュー画面を表示する

2 スキャン演奏キー(**SCAN**)に触れる

■スキャン演奏を解除するには…
もう1度、スキャン演奏キー(**SCAN**)に触れてください。

1曲を繰り返し聴く(リピート演奏)

1 メニュー画面のサブキー(**SUB**)に触れて、サブメニュー画面を表示する

2 リピート演奏キー(**REPEAT**)に触れる

■リピート演奏を解除するには…
もう1度、リピート演奏キー(**REPEAT**)に触れてください。

演奏面を切り換える

1 メイン画面のプログラムキー(PROG)に触れる

→触れるたびに、演奏面が切り換わります。

無録音部分を早送りする(ブランクスキップ)

1 メニュー画面のサブキー(**SUB**)に触れて、サブメニュー画面を表示する

2 ブランクスキップキー(**BLANK SKIP**)に触れる

■ブランクスキップを解除するには…
もう1 度、ブランクスキップキー(**BLANK SKIP**)に触れてください。

ドルビーノイズリダクションで録音されたカセットテープを聴く

1 メニュー画面のサブキー(**SUB**)に触れて、サブメニュー画面を表示させる

2 ドルビーNRキー(**DOLBY B NR**)に触れる

■ドルビーNRを解除するには…
もう1度、ドルビーNRキー(**DOLBY B NR**)に触れてください。

※ ドルビーノイズリダクションは、ドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションからの実施権に基づき製造されています。
ドルビー、DOLBYおよびダブルD記号はドルビーライライセンシングコーポレーションの商標です。

CD/MP3/WMA/MDを聴く

TITLE ：タイトルキー
タイトル表示を切り換えます。また、約1秒間触れ続けるとタイトルをスクロールします。
※CDモード時のCDテキスト表示のとき、またはMP3/WMAディスク演奏時にタイトルキーを表示します。

- MD演奏時
  DISC TITLE → TRACK TITLE → GROUP TITLE(※)
- CDテキスト演奏時　※グループ機能ONのとき
  DISC TITLE → TRACK TITLE → ARTIST
- MP3/WMA演奏時
  FOLDER TITLE ↔ TRACK TITLE

▶/II ：プレイ/ポーズキー
一時停止します。

トラックNo./演奏時間表示
MP3/WMA演奏時は、フォルダーNo./トラックNo./演奏時間を表示

モード表示
CD/MP3/WMA演奏時　：CD PLAYER
MD演奏時: MD PLAYER

(メイン画面)

タイトル表示
ディスクの種類またはタイトル表示の設定に応じて、DISC TITLE(ディスクタイトル)/TRACK TITLE(トラックタイトル)/ARTST(アーティスト)/FOLDER(フォルダー)のいずれかを表示します。

T-SCN
選択した演奏機能名を表示します。
T-SCN ：トラックスキャン演奏時に表示
T-RPT ：トラックリピート演奏時に表示
T-RDM：トラックランダム演奏時に表示
F-SCN ：フォルダースキャン演奏時に表示
F-RPT ：フォルダーリピート演奏時に表示
F-RDM：フォルダーランダム演奏時に表示

背景画面表示部に触れる

「RTN」キーに触れる

(CDモード時のメニュー画面)

タッチキー表示

FUNC ：モードキーを表示します。
SUB ：スキャン等の演奏キーを表示します。
SUB T-SCAN ←スキャン演奏キー
T-REPEAT ←リピート演奏キー
T-RANDOM ←ランダム演奏キー
ADJ ：アジャスト画面を表示します。
NAME ：通常のCD演奏時はタイトル入力画面に、CDテキスト/MDのときにはタイトルスクロール画面に切り換えます。
（MP3/WMAのときは表示しません）

曲を選ぶ

1 次の曲のときは、選曲ボタン(SEEK ◀◀ ▶▶ 詳細 広域)の▶▶を押す

前の曲のときは、アップ/ダウンボタン(SEEK ◀◀ ▶▶ 詳細 広域)の◀◀を押す

早送り/早戻しする

1 早送りのときは、選曲ボタン(SEEK ◀◀ ▶▶ 詳細 広域)の▶▶を押し続ける

早戻しのときは、アップ/ダウンボタン(SEEK ◀◀ ▶▶ 詳細 広域)の◀◀を押し続ける

演奏を止める

1 プレイ/ポーズキー(▶/II)に触れる

■ 演奏を再開させるには…
もう1度、プレイ/ポーズキー(▶/II)に触れてください。

聴きたい曲を探す(スキャン演奏)

1 メニュー画面のサブキー(**SUB**)に触れて、サブメニュー画面を表示する

2 スキャンキー(**SCAN**)に触れる

■スキャン演奏を解除するには…
もう1度、スキャンキー(**SCAN**)に触れてください。

1曲を繰り返し聴く(リピート演奏)

1 メニュー画面のサブキー(**SUB**)に触れて、サブメニュー画面を表示する

2 リピートキー(**REPEAT**)に触れる

■リピート演奏を解除するには…
もう1度、リピートキー(**REPEAT**)に触れてください。

ランダムに演奏を聴く(ランダム演奏)

1 メニュー画面のサブキー(**SUB**)に触れて、サブメニュー画面を表示する

2 ランダムキー(**RANDOM**)に触れる

■ ランダム演奏を解除するには…
もう1度、ランダムキー(**RANDOM**)に触れてください。

タイトル表示を切り換える

1 メイン画面のときにディスプレイボタン(DISP)を押し続ける(約1秒間)

→押し続けるたびにユーザータイトルとCDテキストのタイトル表示を切り換えます。

- ユーザータイトルのときは、「**DISC TITLE**」を表示します。
- 接続している機器がCDテキスト対応のときに操作できます。

CDテキストのタイトル表示を切り換える

1 メイン画面のときにディスプレイボタン(DISP)を押し続ける(約1秒間)

→CDテキストのタイトル表示画面になります。

2 タイトルキー(TITLE)に触れる

→タイトルキーに触れるたびに、「**DISC TITLE**」→「**TRACK TITLE**」→「**ARTIST**」→…と切り換わります。

- CDテキスト表示は、接続している機器がCDテキスト機能に対応している場合に切り換えることができます。
- CDチェンジャーモードのときも同様に切り換えることができます。

CD/MP3/WMA/MDを聴く

MP3/WMAのタイトル表示を切り換える

1 タイトルキー(TITLE)に触れる。

→タイトルキーに触れるたびに、フォルダータイトル(FOLDER TITLE)とトラックタイトル(TRACK TITLE)を切り換えます。

- 接続している機器がMP3/WMA機能に対応している場合のみ表示します。
- この場合、メイン画面における項目名は「**TITLE**」と表示されます。

MP3のフォルダーを選ぶ

1 次のフォルダーのときは、アップ/ダウンボタン(P.CH/DISC)の＋を押す

前のフォルダーのときは、アップ/ダウンボタン(P.CH/DISC)のーを押す

MP3のフォルダー機能で演奏する

1 メニュー画面のサブキー(**SUB**)に触れて、サブ画面表示にする

2 サブメニューの演奏キーに触れ続ける(約1秒間)

- *聴きたいフォルダーを探す(フォルダースキャン演奏)…*

  フォルダースキャンキー(**F-SCAN**)に触れる

- *フォルダー内の曲を繰り返し聴く(フォルダーリピート演奏)…*

  フォルダーリピートキー(**F-REPEAT**)に触れる

- *全ての曲をランダムに聴く(フォルダーランダム演奏)…*

  フォルダーランダムキー(**F-RANDOM**)に触れる

■演奏を解除するには…

もう一度同じ演奏キーに触れてください。

■メイン画面に戻るには…

リターンキー(**RTN**)に触れてください。

MDのタイトル表示を切り換える

1 タイトルキー(TITLE)に触れる。

→タイトルキーに触れるたびに、ディスクタイトル(**DISC TITLE**)とトラックタイトル(**TRACK TITLE**)を切り換えます。

- 接続している機器がグループ機能に対応している場合で、
- グループタイトル表示の場合、メイン画面における項目名は「**TITLE**」と表示されます。

MDのグループを選ぶ

1 次のグループのときは、アップ/ダウンボタン(P.CH/DISC)の＋を押す

前のグループのときは、アップ/ダウンボタン(P.CH/DISC)のーを押す

■MDのグループ機能で演奏する

※接続したMDデッキがグループ機能対応機器で、グループ機能をONにしているときに操作できます。

1 メニュー画面のサブキー(**SUB**)に触れて、サブ画面表示にする

2 サブメニューの演奏キーに触れ続ける(約1秒間)

- *聴きたいグループを探す…*
  (グループスキャン演奏)

  スキャンキー(**SCAN**)に触れ続ける(約1秒間)

  解除するには、グループスキャンキー(**G-SCAN**)に触れてください。

- *グループ内の曲を繰り返し聴く…*
  (グループリピート演奏)

  リピートキー(**REPEAT**)に触れ続ける(約1秒間)

  解除するには、グループリピートキー(**G-REPEAT**)に触れてください。

- *全ての曲をランダムに聴く…*
  (グループランダム演奏)

  ランダムキー(**RANDOM**)に触れ続ける(約1秒間)

  解除するには、グループランダムキー(**G-SRANDOM**)に触れてください。

■メイン画面に戻るには…

リターンキー(**RTN**)に触れてください。

CD/MDチェンジャーを操作する

TITLE：タイトルキー
タイトル表示を切り換えます。また、約1秒間触れ続けると、タイトルがスクロールします。
※CDモード時は、CDテキスト表示の場合にのみタイトルキーが表示されます。

- MD再生時
  DISC TITLE ⇔ TRACK TITLE
- CDテキスト再生時
  DISC TITLE → TRACK TITLE → ARTIST → DISC TITLE

▶/II：プレイ/ポーズキー

ディスクNo./トラックNo./演奏時間表示

モード表示
MDチェンジャーモード時は MD CHANGER を表示します。

(メイン画面)

タイトル表示
ディスクの種類またはタイトル表示の設定に応じて、**DISC TITLE/TRACK TITLE/ARTST**のいずれかを表示します。

T-SCN
選択した演奏機能名を表示します。

- **T-SCN**：スキャン演奏時に表示
- **T-RPT**：リピート演奏時に表示
- **T-RDM**：ランダム演奏時に表示
- **D-SCN**：ディスクスキャン演奏時に表示
- **D-RPT**：ディスクリピート演奏時に表示
- **D-RDM**：ディスクランダム演奏時に表示

背景画面表示部に触れる

「RTN」キーに触れる

(CDチェンジャーモード時のメニュー画面)

1/7 ～ 6/12
：12枚CDチェンジャー時のダイレクトキー
ディスクを選択します。
6枚CDチェンジャー/MDチェンジャー時は、1 ～ 6 を表示します。

タッチキー表示

- FUNC：モードキーを表示します。
- DISC：ディスクタイトル画面を表示します。
- SUB：スキャン演奏等のサブメニュー画面を表示します。
- ADJ：アジャスト画面を表示します。
- NAME：通常のCD演奏時はタイトル入力画面に、CDテキスト/MDのときにはタイトルスクロール画面に切り換えます。

●ディスクタイトル画面

●サブメニュー画面

聴きたいディスクを選ぶ

1 メイン画面のダイレクトキー(1/7 ~ 6/12)に触れる

- メニュー画面のディスクキー(**DISC**)に触れてディスクタイトル画面を表示し、ディスクタイトル名に触れて選択することもできます。

■12枚CDチェンジャーの7～12のディスクを選ぶには…

ダイレクトキーに触れ続けて(約1秒間)ください。

曲を選ぶ

1 次の曲のときは、選曲ボタン(SEEK 詳細 広域)の▶▶を押す

前の曲のときは、選曲ボタン(SEEK 詳細 広域)の◀◀を押す

早送り/早戻しする

1 早送りのときは、選曲ボタン(SEEK 詳細 広域)の▶▶を押し続ける

早戻しのときは、選曲ボタン(SEEK 詳細 広域)の◀◀を押し続ける

演奏を止める(一時停止)

1 プレイ/ポーズキー(▶/II)に触れる

■演奏を再開させるには…

もう1度、プレイ/ポーズキー(▶/II)に触れてください。

いろいろな演奏

1 メニュー画面のサブキー(**SUB**)に触れて、サブメニュー画面を表示する

2 サブメニューの演奏キーに触れる

- *聴きたい曲を探す(スキャン演奏)…*
  スキャンキー(**TRACK SCAN**)に触れる
- *聴きたいディスクを探す(ディスクスキャン演奏)…*
  ディスクスキャンキー(**DISC SCAN**)に触れる
- *1曲を繰り返し聴く(リピート演奏)…*
  リピートキー(**TRACK REPEAT**)に触れる
- *ディスクを繰り返し聴く(ディスクリピート演奏)…*
  ディスクリピートキー(**DISC REPEAT**)に触れる
- *全ての曲をランダムに聴く(ランダム演奏)…*
  ランダムキー(**TRACK RANDOM**)に触れる
- *全てのディスクをランダムに聴く(ディスクランダム演奏)…*
  ディスクランダムキー(**DISC RANDOM**)に触れる

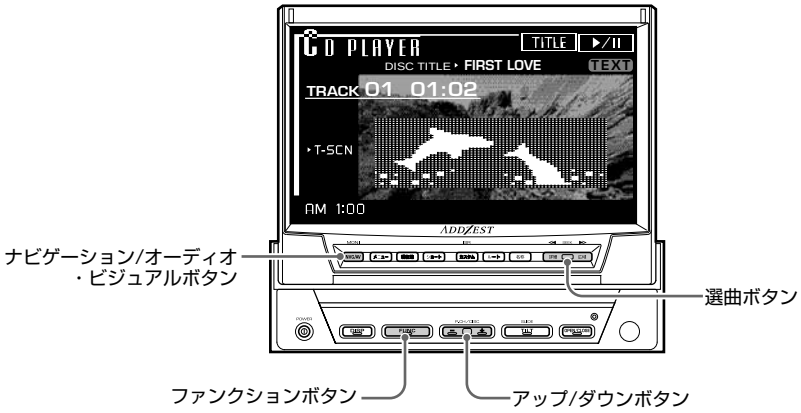
■演奏を解除するには…

もう一度同じ演奏キーに触れてください。

■メイン画面に戻るには…

リターンキー(**RTN**)に触れてください。

CDまたはMDのタイトルを見る



ディスクタイトルまたは曲(トラック)タイトルを見るには

タイトルスクロールについて…

CDテキストまたはMDタイトルにあらかじめ登録されているディスクタイトルや曲(トラック)タイトルを表示し、スクロールさせることができます。

1 メイン画面の背景画面表示部に触れて、メニュー画面にする

2 メニュー画面のネームキー(**NAME**)に触れる

(MDモード時のタイトル表示)

3 スクロールさせたいタイトル表示部に触れる

DISC TITLE
FIRST LOVE

→スクロールキー(**SCR**)が選択したタイトル表示部に移動します。

4 スクロールキー(**SCR**)に触れる

- スクロールキー(**SCR**)の表示されているタイトルがスクロールします。
- ディスクタイトルまたはトラックタイトルのスクロールが終えると、最初のタイトル表示状態になります。
- CDテキストの場合、ディスクタイトル、トラックタイトルおよびアーティスト名を表示します。
- タイトル表示の文字数は10文字です。
- タイトルスクロールは256文字まで対応しています。
- グループ機能対応MDデッキ接続時において、MDのグループタイトルは表示されません。

■元のモードに戻すには…

リターンキー(**RTN**)に触れてください。

DVDビデオを見る

DVDナビゲーションでDVDビデオモードを見る

DVDビデオについて…

DVDビデオ対応ハイブリッドナビゲーションを接続した場合には、ナビゲーション側のリモコン操作によりDVDビデオを見ることができます。

1 ナビゲーション本体にDVDビデオディスクを挿入する

または、DVDビデオディスクが挿入されているときは、ナビゲーション側リモコンのプレイ/ポーズボタンを押す

→DVDビデオ映像が表示されます。

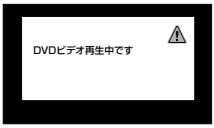
- 操作方法の詳細については、DVDビデオ対応ハイブリッドナビゲーションに付属の取扱説明書をご覧ください。

■元のモードに戻すには…

ファンクションボタン(FUNC)を押してください。

ご注意

- DVDビデオモード時、DVDビデオディスクからナビゲーションディスクに交換したときは、ナビゲーション/オーディオ・ビジュアルボタンを押してナビゲーションモードにしてください。
- ナビゲーション画面のときにナビゲーションディスクからDVDビデオディスクに交換すると、以下の画面を表示します。



この画面になったときは、ナビゲーション/オーディオ・ビジュアルボタンを押してDVDビデオ映像画面に切り換えてください。

DVDビデオモードとして動作するのは、以下の場合です。

- 本機がマスターモードのとき。
- スレーブモードで、2001年以降に発売されたオーディオセンターユニットを接続したとき。

2000年までに発売されたオーディオセンターユニットを接続した場合、グレードアップ表示となり、DVDビデオはVTRモードとして動作します。

DVDチェンジャーでDVDビデオを見る

本機にて簡易コントロールができます。

- 記載項目以外の操作についてはDVDチェンジャーに付属の専用リモコンにて操作してください。
- 画面サイズをシネマモードにすると、再生するディスクによっては再生状態表示(演奏時間等)の一部が見えなくなる場合があります。その場合には、画面サイズをシネマモード以外に設定し直してください。

●ディスクを選ぶ

1 次のディスクのときは、アップ/ダウンボタン(P.CH/DISC −/+)の+を押す

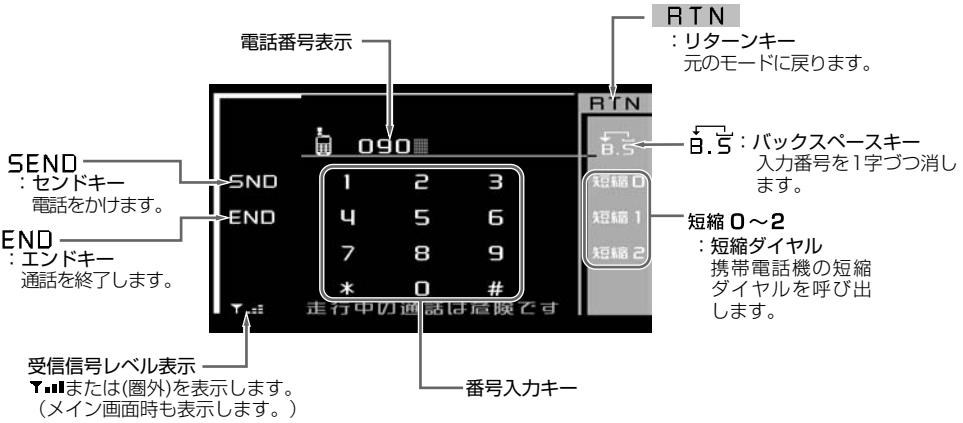
前のディスクのときは、アップ/ダウンボタン(P.CH/DISC −/+)のーを押す

●チャプター/トラックを選ぶ

1 次のチャプター/トラックのときは、選曲ボタン(◀◀ SEEK ▶▶ 詳細/広域)の▶▶を押す

前のチャプター/トラックのときは、選曲ボタン(◀◀ SEEK ▶▶ 詳細/広域)の◀◀を押す

携帯電話機を操作する



⚠警 告

運転中の電話は大変危険です。電話をかけるとき、または受けるときには車を安全な場所に停車させてから操作してください。

電話機能について…

本機にTEL-LINKユニットを接続することによりハンズフリー通話を実現します。

画面表示について…

本機は、センターユニットに接続したTEL-LINKユニットのリモコン操作に対応して、色々なメッセージ(ダイヤル検索、リダイヤル等)を表示します。

電話モードを選ぶ

1 メニュー画面で**TEL**キーに触れる

→番号入画面を表示します。

電話番号を入力して電話をかける

1 番号入力キー(**1**～**0**)に触れて、電話番号を入力する

2 番号を入力したら、センドキー(**SEND**)に触れる

短縮ダイヤルで電話をかける

1 短縮ダイヤルキー(短縮 0 等)に触れて、電話番号を呼び出します

2 電話番号が表示されたら、センドキー(**SEND**)に触れる

通話を終了する

1 エンドキー(**END**)に触れる

携帯用オーディオを聴く

AUXモードにする

AUXモードについて…

別販のCeNET結線対応AUX入力ユニット(EA-1155A)を接続して、市販のヘッドホンステレオなどの音楽ソースを聴くことができます。

1 本機のファンクションボタンを押す

FUNC

または、メニュー画面のファンクションキーに触れてサブメニュー画面を表示させて、AUXモードキーに触れる

■元のモードに戻すには…

本機のファンクションボタン(FUNC)を押すか、またはメニュー画面のファンクションキー(**FUNC**)に触れてサブメニューを表示させ、モードキーに触れてください。

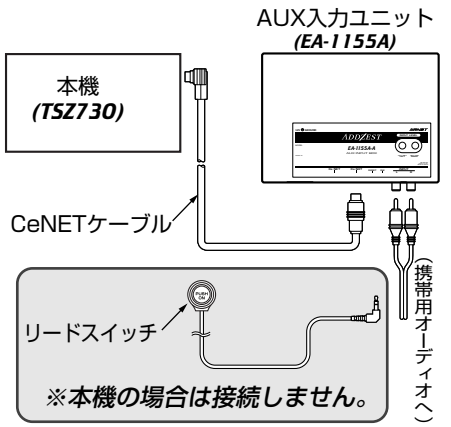
■ DVDハイブリッドナビゲーション(NAX960DV/NAX960DVD/NAX010VD/NAX020VD/NAX030VD)における音楽CDの演奏について…

- ACCESSORY(アクセサリー)モードになります。
- ナビゲーション/オーディオ・ビジュアルボタン(MONI NVG/AV)を押してナビゲーション画面に切り換えると、ナビゲーション側のCD演奏表示画面になります。詳しくは、ナビゲーションに付属の取扱説明書をご覧ください。
- ACCESSORY(アクセサリー)モードになるのは、
  ・・本機がマスターモードのとき。
  ・・スレーブモード時で、今後発売される2001年モデル以降のオーディオセンターユニットを接続したとき。

です。

現在発売されている2000年モデル以前のオーディオセンターユニットを接続した場合、グレードアップ表示となり、ナビゲーション側のCD演奏表示画面となります。

■ AUX入力ユニット接続のしかた

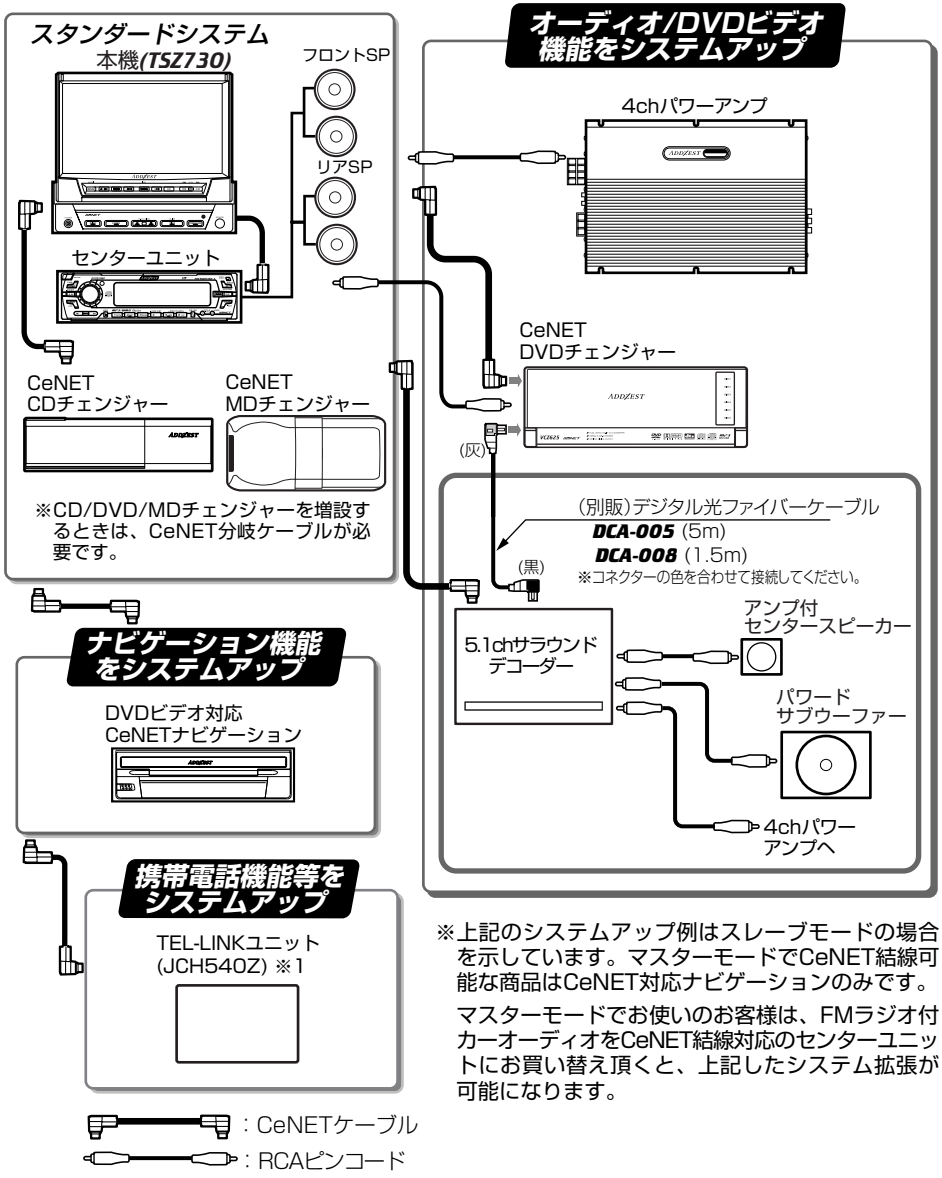


システムアップについて

本機は CeNET マークのついている外部機器を接続することにより、様々なシステム拡張を行うことができます。

以下のシステムアップ例は本機に接続できる機器の概要を示しています。接続可能モデルおよびそれに必要なCeNETケーブル等の詳細につきましては、販売店あるいは弊社お客様相談室にお問い合わせください。

また、接続についての詳細は、ご購入商品に付属の取付説明書をご覧ください。



※上記のシステムアップ例はスレーブモードの場合を示しています。マスターモードでCeNET結線可能な商品はCeNET対応ナビゲーションのみです。

マスターモードでお使いのお客様は、FMラジオ付カーオーディオをCeNET結線対応のセンターユニットにお買い替え頂くと、上記したシステム拡張が可能になります。

■CeNET接続ケーブル長一覧表

CeNET接続ケーブルの最大配線長は、20m以下(CeNET分岐ケーブルCCA-519含む)です。接続の際は、下表をご参照のうえ、配線長が20mを越えないように、注意してください。

CeNETケーブル同梱機種	ケーブル長
CeNET CDチェンジャー	5m(オス⇔オス)
CeNET MDチェンジャー	5m(オス⇔オス)
JCH540Z(オーディオコントロール付TEL-LINKユニット)	2.5m(オス⇔オス)
CeNET ナビゲーションシステム	5m(オス⇔オス)
CeNET DVDチェンジャー	5 m(オス⇔オス)

別販CeNETケーブル	ケーブル長
CCA-519(CeNET分岐ケーブル)	1m(オス×2⇔メス)
CCA-520(CeNET延長ケーブル)	2.5m(オス⇔メス)
CCA-521(CeNET延長ケーブル)	0.6m(オス⇔メス)

( )内は、コネクターの形状を表しています。

■アンテナ延長コード

CCA-331-500…ミニジャック(3.5φ)、ケーブル長(1m)

■DVDチェンジャー接続時のご注意

- DVDチェンジャーを接続したときは、DVDチェンジャーの映像出力をTSZ730の映像入力(VIDEO IN)に接続してください。
- DVDチェンジャーとDVDビデオ対応CeNETナビゲーションを接続し、それぞれでDVDビデオを再生したい場合には、市販のAVセレクターを用いて、TSZ730の映像入力(VIDEO IN)に接続してください。

システムアップについて

ナビゲーション接続時のご注意

本機に接続するナビゲーションの種類によって、以下の制約事項がありますのでご注意ください。

■CeNET結線対応のナビゲーションを接続した場合

●マスターモード

※DVDナビゲーションNAX950DVにつきましては、Ver.1.2のみ接続可能です。

※ＤＶＤハイブリッドナビゲーションNAX960DV/NAX960DVD(Ver.2.01以降)、NAX010VD/020VD/030VDを接続した場合は、TSZ730本来(本書に記載)のオーディオ画面でご使用頂けます。

※ナビゲーション用別販スピーカー(SPB-602)を使用してください。

※NAX960DVD,NAX010VD/020VD/030VDを接続した場合は、TSZ730のRCA入力端子(映像/音声Lch/Rch)に、NAX960DVD,NAX010VD/020VD/030VDのRCA端子(映像/音声)を接続してください。詳しくは、取付説明書における「システム例-1」のマスターモード時をご覧ください。

●スレーブモード

※DVDナビゲーションNAX950DVにつきましては、Ver.1.2のみ接続可能です。

※本機に2000年モデル以前のオーディオセンターユニットを使用し、ナビゲーションを接続すると、オーディオ画面がグレードアップします。グレードアップ画面による操作のしかたは、ナビゲーションに付属のグレードアップ操作説明書をご覧ください。

※本機に2001年モデル以降のオーディオセンターユニットとNAX960DV(Ver.2.01以降)/NAX960DVD(Ver.2.01以降)、NAX010VD/020VD/030VDを接続した場合、TSZ730本来のオーディオ画面でご使用頂けます。(バージョンアップROMを使用したNAX950DVも同様です。)

■CeNET結線対応以外のナビゲーションを接続した場合(アゼストナビゲーションNAX9600/NAX9500等)

※本機でナビゲーションの操作はできません。また、経路誘導等の音声案内は本機から出力できません。

※本機のミニDIN8P端子には接続しないでください。

※ナビゲーションの映像出力は本機背面のRGB入力端子に接続し、「**外部機器を設定する(CONNECT)**」の設定を「**RGB**」に切り換えてください。

※ナビゲーション用別販スピーカー(SPB-602)を使用してください。

■他社ナビゲーションを接続する場合

※ミニDIN8P端子に変換コードCCA-389-500を使用して接続してください。

この場合、「**外部機器を設定する(CONNECT)**」の設定を「**COMPO**」に切り換えてください。

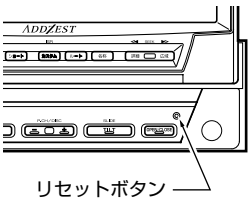
■ナビゲーション接続適合とオーディオ画面表示

使用モード / モデル名	マスターモード	スレーブモード	
		2000年以前に発売されたオーディオセンターユニットとの組み合わせ	2001年以降に発売されたオーディオセンターユニットとの組み合わせ
NAX940Z	接続不可	ナビゲーション側のグレードアップ画面表示	ナビゲーション側のグレードアップ画面表示
NAX950DV Ver.1.2(※)	TSZ730本来のオーディオ画面表示	ナビゲーション側のグレードアップ画面表示	TSZ730本来のオーディオ画面表示
NAX960DV/DVD NAX010VD/020VD/030VD	TSZ730本来のオーディオ画面表示	ナビゲーション側のグレードアップ画面表示	TSZ730本来のオーディオ画面表示

※NAX950DV Ver.1.0/Ver.1.1は接続できません。

故障かな？と思われる前に

■故障かな?と思ったら、修理を依頼する前に、もう1度次の点をお調べください。

症　状	原　因	処　置
映像が出ない	パーキングブレーキがかかっていない	パーキングブレーキが完全にかかっていることを確認してください。
	走行中である	走行中、映像は映りません。駐車してからお楽しみください。(パーキングブレーキを引いてください)
	ファンクションがTVモードになっていない	テレビを見るときには、ファンクションボタンで、TV画面になっているか確認してください。
	モニターOFFになっている	ナビゲーション/オーディオ・ビジュアルボタンを押してモニターONにしてください。
映像が不鮮明	受信状態が悪い	山間や建物の陰などで、電波が十分きていないことが考えられます。電波の状態が良いところで、もう1度確認してください。
画面が暗い	明るさ調整が不十分	明るさ調整が正しく調整されているか確認してください。
	使用状況が悪い	車内温度が0℃以下、または60℃以上になっている場合が考えられます。車内温度を適温(25℃前後)にして確認してください。
	自動車のライトが点灯している	夜間は、画面を暗くして、眩しさを防いでいます。(昼間でも、自動車のライトを点灯すると、画面は暗くなります)
色が薄い 色あいが悪い	色の調整が不十分	色あい、色の濃さが正しく調整されているか確認してください。
映像が2重、3重になる	受信状態が悪い	山やビルからの反射電波の影響が考えられます。場所や方向を変えて確認してください。
映像にはん点やしま模様が出る	妨害電波がある	自動車や電車、高圧線、ネオンなどからの影響(妨害電波)が考えられます。場所を変えて確認してください。
音が出ない	ボリュームの調整が不十分	音量レベルが最小になっていることが考えられます。もう1度確認してください。
ボタンを押しても動作しない。ディスプレイが正確に表示しない。	ノイズなどが原因で、マイコンが誤動作している。	リセットボタンを細い棒などで押してください。  リセットボタンを押すとメモリーしたタイトル等がすべて消去されます。 本機に接続している機器のリセットボタンも合わせて押してください。

エラー表示について

本機は、システム保護のため、各種の自己診断機能を備えています。
障害が発生したときは、各種のエラーが表示されますので、対処方法にしたがって障害を取り除いてください。障害を取り除けば、通常の動作に戻ります。

	エラー表示	原　因	対処方法
CD	**ERROR2**	CDデッキのメカが故障しているときの表示	販売店にご相談ください。
	ERROR3	CDデッキ内のCDに傷などがあり、演奏できないときの表示	傷のないCDと交換してください。
	ERROR6	CDを裏返しに入れ、演奏できないときの表示	正しく入れ直してください。
MD	**ERROR2**	MDデッキのメカが故障しているときの表示	販売店にご相談ください。
	ERROR3	MDデッキ内のMDに傷などがあり、演奏できないときの表示	傷のないMDと交換してください。
	ERROR6	ブランクディスク（無録音）を入れたときの表示	録音されたMDと交換してください。
	ERROR H	MDデッキの温度が上がりすぎたため、自動的に動作を停止させたときの表示	MDデッキの温度が下がるように、まわりの温度を下げてしばらくお待ちください。
CDチェンジャー	**ERROR2**	CDチェンジャー内のCDがローディングできないときの表示	CDチェンジャーのメカニズムの故障と思われますので、販売店にご相談ください。
	ERROR3	CDチェンジャー内のCDに傷などがあり、演奏できないときの表示	傷やソリのないCDと交換してください。
	ERROR6	CDチェンジャー内のCDを裏返しに入れ、演奏できないときの表示 CDチェンジャー内のCDに傷などがあり、演奏できないときの表示	CDをイジェクトし、正しく入れ直してください。 傷やソリのないCDと交換してください。
MDチェンジャー	**ERROR2**	MDチェンジャーのメカが故障しているときの表示	販売店にご相談ください。
	ERROR3	MDに傷などがあり、演奏できないときの表示	傷のないMDと交換してください。
	ERROR6	ブランクディスク（無録音）を入れたときの表示	録音されたMDと交換してください。
	ERROR H	MDチェンジャーの温度が上がりすぎたため、自動的に動作を停止させたときの表示	MDチェンジャーの温度が下がるように、まわりの温度を下げてしばらくお待ちください。

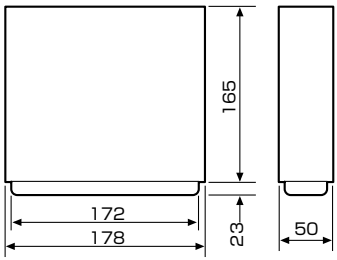
※ DVDチェンジャーのエラー表示については、DVDチェンジャーに付属の取扱説明書をご覧ください。

仕 様

本機はDC12Vマイナス接地車専用です。DC24Vの車でご使用になる場合は、必ずお買い求めの販売店、または弊社修理相談窓口にご相談ください。

■ 本体

画面寸法	：7型(幅152mm×高さ85mm)
表示方式	：透過型TN液晶パネル
駆動方式	：TFT(薄膜トランジスタ) アクティブマトリックス駆動方式
画素数	：336,960画素 234(V)×1440(H)
同調方式	：PLLシンセサイザー方式
受信チャンネル	：VHF1～12ch(90～222MHz) UHF13 ～62ch(470～770MHz)
中間周波数	：映像58.75MHz 音声54.25MHz
アンテナ入力	：75Ω不平衡
RGB入力	：映像0.7V±0.2Vp-p(入力インピーダンス75Ω) 同期0.3V$\pm^{0.9}_{0.1}$p-p(入力インピーダンス75Ω)
電源電圧	：DC13.2V(10.8～15.6V)
消費電流	：2.0A以下
質量	：約1.9kg
外形寸法	：178(W)×50(H)×188(D)mm [取付寸法：165(D)mm]



■付属品

① 取扱説明書 1
② 取付説明書 1
③ 保証書 1
④ 修理相談窓口リスト 1
⑤ 電源コード 1
⑥ 本体用付属品袋 ..... 一式
⑦ 4系統ダイバーシティアンテナ ..... 一式

※ これらの仕様およびデザインは、改善のため予告なく変更する場合があります。

アフターサービスについて

■保証書

この商品には、保証書が添付されています。お買い求めの際、販売店で所定事項を記入いたしますので、記入および記載事項をご確認のうえ、大切に保管してください。なお、保証書は再発行いたしませんので、ご注意ください。

■保証期間

お買い求めの日より1年間です。

■万一故障が発生した場合

保証期間中に、正常な使用状態で故障が発生した場合には、保証の記載内容に基づいて、無料で修理いたします。
お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。

■保証期間経過後の修理について

修理することにより性能が維持できる場合には、お客様のご要望により、有料で修理いたします。

クラリオン株式会社

本　　社　〒112-0001 東京都文京区白山5-35-2
お客様相談室　フリーダイヤル　0120-112-140(土･日･祝祭日を除く、9:00 ～12:00、13:00 ～ 17:30)

ご購入年月日	年　　月　　日
ご購入店名	
	TEL.
製造番号	

お客様へ……ご購入年月日、ご購入店名などを記入されるとお問い合わせ等のときに便利です。

Printed in China 2003/2(CL･C)　　QZ-7533A　　280-7955-00